

1 4. 平成22年度～平成26年度 教員活動実績

1. 滝川浩史 教授, 田上英人 客員准教授

【展示会】

- [1]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, オリジナル電気自動車の試乗会, 研究紹介ポスターの展示, 2012.8.25
- [2]「ものづくり博 2012 in 東三河」, 豊橋総合体育館, 研究紹介ポスターの展示, 2012.11.30-12.1
- [3]研究成果展示「低炭素と安心安全を目指す街:豊橋」, 豊橋市役所 東館1階市民ギャラリー, 研究紹介ポスターの展示, 2013.1.7-11
- [4]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, オリジナル電気自動車の試乗・研究紹介ポスターの展示, 2013.8.31
- [5]「豊橋市大学連携調査研究費補助金 研究成果報告展示会」, 豊橋市役所 東館1階市民ギャラリー, オリジナル電気自動車の展示・研究紹介ポスターの展示, 2013.9.25-30
- [6]豊川市政施行 70 周年記念事業「エネエネわっしょい!!～あしたをつくろう～」, 豊川市総合体育館, エネルギー体験ブース・サボニウス風車工作教室(小学生向け), 2013.09.23
- [7]「ぎかだいがやってくる eco エネを感じよう!」, のんほいパーク, 研究紹介ポスターの展示, EV 牽引バスのデモ走行(どなたでも乗車可)・サボニウス風車工作教室(小学生向け) 2013.11.16
- [8]おでかけミニ講座「ぎかだいがやってくる 体験!未来ビークルシティ」, こども未来館ここにこ, 研究紹介ポスターの展示, 2013.11.23-24
- [9]「豊橋市大学連携調査研究費補助金 研究成果報告展示会」, 豊橋市役所, 研究紹介ポスターの展示・電動レーシングカート展示, 2014.5.19-23
- [10]「ものづくり博 2014 in 東三河」, 豊橋市総合体育館, 研究紹介ポスターの展示・電動レーシングカート展示, 2014.10.31-11.1
- [11]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, オリジナル電気自動車の試乗・研究紹介ポスターの展示, 2014.8.23

【シンポジウム】

- [1]滝川浩史,「未来ビークルライフに向けたエネルギーの創成と利用」,「豊橋技術科学大学未来ビークルシティリサーチセンター総括シンポジウム」, 豊橋商工会議所, 2015.3.10

【学会発表】

- [1]織田俊樹・山田幹也・田上英人・須田善行・滝川浩史,「バッテリー-キャパシタ併用電気自動車における電源切替え時の動作」, 平成 24 年度電気関係学会東海支部連合大会, J2-8, 2012.9.24
- [2]山田幹也・織田俊樹・田上英人・須田善行・滝川浩史,「バッテリー-キャパシタ併用電源搭載 EV 用モータの極数の検討」, 平成 24 年度電気関係学会東海支部連合大会, J2-7, 2012.9.24
- [3]伊藤詠太・佐野幸一郎・田上英人・須田善行・滝川浩史,「公園内客車牽引用電気自動車の走行消費エネルギーの計測とシミュレーション」, 平成 24 年度電気関係学会東海支部連合大会 J1-2, 2012.9.24
- [4]織田俊樹・山田幹也・田上英人・須田善行・滝川浩史,「電気自動車用バッテリー-キャパシタ併用電源におけるキャパシタ電圧低下の改善」, 平成 25 年電気学会全国大会, 4-179, 2013.3.20
- [5]伊藤詠太・田上英人・須田善行・滝川浩史,「電動ごみ収集車の経済環境効果の検討」, 平成 25 年電気学会全国大会, 4-219, 2013.3.22
- [6]伊藤詠太・田上英人・須田善行・滝川浩史,「公共施設内の電気自動車への充電のための太陽電池利用による経済・環境効果」, 平成 25 年度電気関係学会東海支部連合大会, B1-3, 2013.9.24-25
- [7]織田俊樹・田上英人・須田善行・滝川浩史,「電気自動車用バッテリー-キャパシタ併用電源におけるバッテリー出力電流の制御」, 平成 25 年度電気関係学会東海支部連合大会, B1-2, 2013.9.24-25

- [8]佐野雄二・織田俊樹・須田善行・滝川浩史・田上英人（北九州高専），「電気自動車用バッテリー-キャパシタ併用電源システムの高負荷走行に対応させた改良」，平成 26 年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会，C4-1，中京大学 名古屋キャンパス，2014.9.8-9
- [9]法貞友也・須田善行・滝川浩史・田上英人（北九州高専），「豊橋市における風速と風力エネルギーによる月別発電電力」，平成 26 年度電気・電子・情報関係学会東海支部連合大会，B2-4，中京大学 名古屋キャンパス，2014.9.8-9

【新聞掲載】

- [1]東日新聞，園内を電気バス走る 豊橋技科大が導入実験 のんほいパーク，2012.3.13
- [2]東愛知新聞，園内バスけん引 EV 導入 来年度中にも運行開始，豊橋総合動植物公園で走行実験 2012.3.13
- [3]東日新聞，最新型太陽電池で実験 日進月歩データで明らかに高校生が確かめる 技科大の滝川教室，2012.8.30
- [4]東愛知新聞，電動バスの乗り心地は？＝豊橋総合動植物公園で試乗会＝技科大生らコストや性能調査，2013.11.17

2. 廣島康裕 教授，松尾幸二郎 助教

【展示会】

- [1]研究成果展示「低炭素と安心安全を目指す街：豊橋」，豊橋市役所 東館 1 階市民ギャラリー，研究紹介ポスターの展示，2013.1.7-11
- [2]おでかけミニ講座「ぎかだいがやってくる 体験！未来ビークルシティ」，こども未来館ここにこ，研究紹介ポスターの展示，2013.11.23-24
- [3]「オープンキャンパス」，豊橋技術科学大学，ドライビングシミュレータの体験・研究紹介ポスターの展示，2014.8.23
- [4]豊橋市交通児童館あきまつり 2014 「ぎかだいがやってくる！～運転手になってみよう！～」，豊橋市交通児童館，マイクロ交通シミュレータ・ドライビングシミュレータ体験型交通教育，研究紹介ポスターの展示，2014.10.5

【講演会・講座・シンポジウム】

- [1]廣島康裕，三河港田原地区における幹線道路網整備の効果計測について」，臨海企業懇話会，2012.3.27
- [2]廣島康裕，「都市交通のシミュレーション」，「平成 24 度豊橋技術科学大学一般公開講座」，豊橋技術科学大学，2012.12
- [3]廣島康裕，「交通渋滞対策に関する最近の話題」，「田原市民大学」，2013.3.16
- [4]廣島康裕，「三河港における交通渋滞対策に伴う諸問題の軽減策の検討」，「国際自動車コンプレックス研究会第 41 回研究交流会」，豊橋市民センター（カリオンビル），2014.6
- [5]廣島康裕，「未来ビークルシティと交通システム～高齢社会における地域公共交通施策を中心に～」，平成 26 年度豊橋技術科学大学一般公開講座「ビークルシティの未来」，豊橋技術科学大学，2014.12

【学会発表】

- [1]吉田剛・廣島康裕，「豊橋市におけるコミュニティバスに対する地域住民の費用負担意識と利用者の評価構造」，平成 24 年度土木学会中部支部研究発表会，愛知工業大学，pp.289-290，2013.3
- [2]鳥本敬介・廣島康裕，「左側右側を区別した自転車利用者の通行帯選択行動の分析」，平成 24 年度土木学会中部支部研究発表会，愛知工業大学，pp.325-326，2013.3
- [3]井上照也・廣島康裕・松尾幸二郎，「右折直進事故対策のための右折車両の挙動分析」，平成 24 年度土木学会中部支部研究発表会，愛知工業大学，pp.349-350，2013.3

- [4]Matsuo, K. and Hirobata, Y., “A Desired Speed Selection Model Based on Perceived Cost Minimization Concept”, Proceedings of the 13th World Conference on Transport Research, Rio de Janeiro, Brazil, 2013.7.
- [5]Nakanishi, H., Black, J. and Matsuo, K., “A Conceptual Model of Post-disaster Travel Behavioural Responses: Case Study of Great East Japan Earthquake 2011”, Proceedings of the 13th World Conference on Transport Research, Rio de Janeiro, Brazil, 2013.7
- [6]松尾幸二郎・廣島康裕・佐藤修生・山内洋佑, 「無信号横断歩道におけるドライバーの「譲り」に関する基礎的調査および考察」, 交通工学研究発表会論文集, Vol.33, CD-ROM, pp.225-228, 2013.9
- [7]松尾幸二郎・廣島康裕・佐藤修生・山内洋佑, 「無信号横断歩道におけるドライバーの「譲り」に関する基礎的分析」, 土木計画学研究・講演集, Vol.48, CD-ROM, 2013.11
- [8]鳥本敬介・廣島康裕・松尾幸二郎, 「自転車利用者の通行帯選択の実態とその要因分析ー左側通行か右側通行可に着目してー」, 土木計画学研究・講演集, Vol.48, CD-ROM, 2013.11.
- [9]吉田剛・貞清裕太・廣島康裕・松尾幸二郎, 「地域公共交通に対する都市部と郊外部での支払意思額構造における比較分析 - 愛知県豊橋市をケーススタディとして - 」, 平成 25 年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集 CD-ROM, 2014.3
- [10]井上照也・廣島康裕・松尾幸二郎, 「ドライビングシミュレータを利用した右折車両の挙動分析」, 平成 25 年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集 CD-ROM, 2014.3
- [11]Hamdard, N.A., Hirobata, Y. and Matsuo, K., “Person Trip Analysis in Kabul Metropolitan Area”, 平成 25 年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集 CD-ROM, 2014.3
- [12]鳥本敬介・廣島康裕・松尾幸二郎, 「自転車通行位置の明示による自転車利用者の通行帯選択率割合および通行位置の変化の検証」, 平成 25 年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集 CD-ROM, 2014.3
- [13]貞清裕太・吉田剛・廣島康裕・松尾幸二郎, 「豊橋市南部地区におけるデマンド型乗合タクシーの利用実態と住民意識」, 平成 25 年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集 CD-ROM, 2014.3
- [14]濱村奏・廣島康裕・松尾幸二郎, 「豊橋市の小学校を対象とした通学路の安全性評価に関する基礎分析」, 平成 25 年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集 CD-ROM, 2014.3
- [15]園田健・廣島康裕・松尾幸二郎, 「高速道路 JCT 近傍における渋滞時の車線利用率変化とその渋滞拡大効果に関する考察ー伊勢湾岸道と新名神を対象としてー」, 平成 25 年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集 CD-ROM, 2014.3
- [16]佐藤飛鳥・廣島康裕・松尾幸二郎, 「豊橋市南栄周辺地区における都市計画道路整備に伴う交通流変化」, 平成 25 年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集 CD-ROM, 2014.3
- [17]松尾幸二郎・廣島康裕, 「交通事故データおよび急減速データを併用した事故危険性の評価方法に関する基礎的検討ーベイズ更新モデルを用いてー」, 第 50 回土木計画学研究発表会, 鳥取大学鳥取キャンパス, 4pages, 2014.11
- [18]濱村奏・廣島康裕・松尾幸二郎, 「豊橋市南部地区のデマンド型乗合タクシーに対する利用者の評価と住民の費用負担意識」, 第 50 回土木計画学研究発表会, 鳥取大学鳥取キャンパス, 5pages, 2014.11
- [19]園田健・廣島康裕・松尾幸二郎, 「都市間高速道路の JCT 近傍における渋滞時車線利用の偏りとその要因に関する考察」, 第 50 回土木計画学研究発表会, 鳥取大学鳥取キャンパス, 6pages, 2014.11
- [20]鳥本敬介・廣島康裕・松尾幸二郎, 「自転車通行位置の明示による自転車利用者の通行帯選択率および通行位置の変化の検証」, 第 50 回土木計画学研究発表会, 鳥取大学鳥取キャンパス, 4pages, 2014.11
- [21]松尾幸二郎・廣島康裕, 「速度選択モデルを用いた ISA によるドライバーの負担推計の試みー生活道路 ISA の普及に向けた検討としてー」, 第 49 回土木計画学研究発表会, 東北工業大学八木山キャンパス, 5pages, 2014.6
- [22]鳥本敬介・廣島康裕・松尾幸二郎, 「自転車利用者の通行区間両端点での分岐率を考慮した通行帯選択行動の分析」, 平成 26 年度土木学会中部支部研究発表会, 豊橋技術科学大学, 2pages, 2015.3

- [23]濱村奏・廣島康裕・松尾幸二郎, 「豊橋市南部地区の地域公共交通に対する利用者評価および住民の費用負担意識の要因分析」, 平成 26 年度土木学会中部支部研究発表会, 豊橋技術科学大学, 2pages, 2015.3
- [24]片岡聡・廣島康裕・松尾幸二郎・佐藤飛鳥, 「マクロとミクロの交通シミュレーションモデルを結合した道路網交通フロー推計方法の検討」, 平成 26 年度土木学会中部支部研究発表会, 豊橋技術科学大学, 2pages, 2015.3
- [25]杉原暢・松尾幸二郎・廣島康裕・三村泰広・山崎基浩・菅野甲明, 「フィールド実験および SP 質問調査を用いた運転者の ISA 受容性分析」, 平成 26 年度土木学会中部支部研究発表会, 豊橋技術科学大学, 2pages, 2015.3
- [26]田中翔・廣島康裕・松尾幸二郎・園田健, 「新名神高速道路の JCT 近傍における渋滞時の車線利用特性に関する研究」, 平成 26 年度土木学会中部支部研究発表会, 豊橋技術科学大学, 2pages, 2015.3
- [27]福尾尚也・廣島康裕・松尾幸二郎, 「豊川市におけるコミュニティバスの利用実態分析と路線網・サービス水準評価」, 平成 26 年度土木学会中部支部研究発表会, 豊橋技術科学大学, 2pages, 2015.3
- [28]Tran Le Trong Hung・廣島康裕・松尾幸二郎, 「交差点形状を考慮した右折挙動の危険性の評価～ドライビングシミュレータを用いて～」, 平成 26 年度土木学会中部支部研究発表会, 豊橋技術科学大学, 2pages, 2015.3

【論文】

- [1]Matsuo, K., Hirobata, Y. and Komatsu, H., “An Analysis of the Effects of Simple Traffic Safety Measures at a Signalized Intersection: Before-and-after Study on Right-Turn Behavior”, Journal of the Eastern Asia Society for Transportation Studies, Vol.10, pp. 2021-2030, 2013
- [2]Nakanishi, H., Matsuo, K. and Black, J., “Transportation Planning Methodologies for Post-disaster Recovery in Regional Communities: the East Japan Earthquake and Tsunami 2011”, Journal of Transport Geography, Vol.31, pp. 181-191, 2013
- [3]Hitomi Nakanishi, John Black and Kojiro Matsuo, “Disaster Resilience in Transportation – Japan Earthquake and Tsunami 2011”, International Journal of Disaster Resilience in the Built Environment, Vol.5, No.4, pp.341-361, 2014

3. 宮田 譲 教授

【展示会】

- [1]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, 研究紹介ポスターの展示, 2012.8.25
- [2]「ものづくり博 2012 in 東三河」, 豊橋総合体育館, 研究紹介ポスターの展示, 2012.11.30-12.1
- [3]研究成果展示「低炭素と安心安全を目指す街：豊橋」, 豊橋市役所 東館 1 階市民ギャラリー, 研究紹介ポスターの展示, 2013.1.7-11
- [4]「豊橋市大学連携調査研究費補助金 研究成果報告展示会」, 豊橋市役所 東館 1 階市民ギャラリー, 研究紹介ポスターの展示, 2013.9.25-30
- [5]おでかけミニ講座「ぎかだいがやってくる体験！ 未来ビークルシティ」, こども未来館ここにこ, 研究紹介ポスターの展示, 2013.11.23-24
- [6]「豊橋市大学連携調査研究費補助金 研究成果報告展示会」, 豊橋市役所, 研究紹介ポスターの展示, 2014.5.19-23
- [7]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, 研究紹介ポスターの展示, 2014.8.23
- [8]「豊橋技術科学大学未来ビークルシティリサーチセンター総括シンポジウム」, 豊橋商工会議所, 研究紹介ポスターの展示, 2015.3.10

【講演会・講座・シンポジウム】

- [1]宮田 譲,「三遠南信地域の幹線道路整備と経済再生」,「平成 25 年度豊橋技術科学大学公開講座」,豊橋技術科学大学, 2013.11.8
- [2]宮田 譲・渋澤博幸,「未来ビークル導入の環境・経済的影響評価」,「2014 年度豊橋技術科学大学公開講座」,豊橋技術科学大学, 2014.11.28
- [3]渋澤博幸・宮田 譲,「ガソリン車利用から電気自動車によるフェリー利用への転換の可能性について」,「2014 年度豊橋技術科学大学公開講座」,豊橋技術科学大学, 2014.11.28
- [4]宮田 譲,「豊橋市における電気自動車関連産業発展の環境・経済的影響評価」,「名古屋大学グリーンモビリティ連携研究センター第 18 回次世代自動車公開シンポジウム」,名古屋大学経済学部, 2015.2.13
- [5]宮田 譲,「豊橋市における電気自動車導入の環境・経済的影響評価」,「豊橋技術科学大学未来ビークルシティリサーチセンター総括シンポジウム」,豊橋商工会議所, 2015.3.10

【学会発表】

- [1]Yuzuru Miyata, Hiroyuki Shibusawa and Shamsunnahar Khanam, “A Computable General Equilibrium Analysis of Electric Vehicle Society in Toyohashi City, Japan”, 日本地域学会第 49 回(2012 年)年次大会学術発表論文集, CD-ROM, 2012.10.8
- [2]Yuzuru Miyata, Hiroyuki Shibusawa and Shamsunnahar Khanam, “Economic Assessment of Electric Vehicle Society in Toyohashi City, Japan- A CGE Modeling Approach-”, 59th Annual North American Meetings of the Regional Science Association International, Ottawa, Canada, 2012. 11.7
- [3]中澤光一郎・李 念・宮田 譲・渋澤博幸,「南海トラフと首都直下型地震を対象とした防災復興投資の経済効果の分析」,日本環境共生学会第 16 回(2013 年度)地域シンポジウムポスターセッション, 2013.5.25
- [4]Nian Li, Koichiro Nakazawa, Yuzuru Miyata and Hiroyuki Shibusawa, “Economic Assessment of a Large-Scale Earthquake in Bohei Economic Rim, China”, 日本環境共生学会第 16 回(2013 年度)地域シンポジウムポスターセッション, 2013.5.25
- [5]Any Wahyuni, Yuzuru Miyata and Hiroyuki Shibusawa, “The Road Construction Type Evaluation by Public Transport User and CO₂ Emissions Reduction in the Critical Area: An AHP Approach”, 日本環境共生学会第 16 回(2013 年度)地域シンポジウムポスターセッション, 2013.5.25
- [6]Any Wahyuni, Yuzuru Miyata and Hiroyuki Shibusawa, “Policies of CO₂ Emissions Reduction in Makassar City in Indonesia - A CGE Modeling Approach -”, 日本環境共生学会第 16 回(2013 年度)地域シンポジウムポスターセッション, 2013.5.25
- [7]Yuzuru Miyata and Hiroyuki Shibusawa, “Economic Analysis of Electric Vehicle Society in Toyohashi City in Japan: A CGE Modeling Approach”, The 23rd Pacific Regional Science Conference, Bandung, Indonesia, USB Memory, 2013.7.3
- [8]Any Wahyuni and Yuzuru Miyata, “Evaluation of the Road Construction by Analytic Hierarchy Process to Support of CO₂ Emissions Reduction : A Case Study of Maros-Watampone Road” , The 23rd Pacific Regional Science Conference, Bandung, Indonesia, USB Memory, 2013.7.3
- [9]Any Wahyuni and Yuzuru Miyata, “Economic Analysis of CO₂ Reduction Policies in Makassar City in Indonesia - A CGE Modeling Approach”, The 23rd Pacific Regional Science Conference, Bandung, Indonesia, USB Memory, 2013.7.3
- [10]Hiroyuki Shibusawa, Nian Li, Koichiro Nakazawa and Yuzuru Miyata, “Economic Assessment of Environmental Friendly Vehicles: Input-Output Application”, The 23rd Pacific Regional Science Conference, Bandung, Indonesia, USB Memory, 2013.7.4
- [11]Hiroyuki Shibusawa, Nian Li, Koichiro Nakazawa and Yuzuru Miyata, “Evaluating Economic Impacts of Disaster Prevention Investments - Dynamic Spatial CGE Approach -”, The 23rd Pacific Regional Science

- Conference, Bandung, Indonesia, USB Memory, 2013.7.4
- [12]Any Wahyuni and Yuzuru Miyata, “Public Participation in Selection of the Road Construction by Analytic Hierarchy Process for Supporting CO₂ Emissions Reduction: Maros-Watampone Road Case”, Proceedings of 53rd European Regional Science Conference, Palermo, Italy, USB Memory, 2013.8.29
- [13]Any Wahyuni and Yuzuru Miyata, “The Impact of CO₂ Emissions Policy on the Economy of Makassar City: A CGE Analysis”, Proceedings of 53rd European Regional Science Conference, Palermo, Italy, USB Memory, 2013.8.29
- [14]菅原喬史・渋澤博幸・宮田 譲, 「韓国における次世代自動車生産の経済効果」, 第16回日本環境共生学会学術大会発表論文集, pp.195-202, 2013.9.29
- [15]Any Wahyuni, Yuzuru Miyata and Hiroyuki Shibusawa, “Economic Impacts of Carbon Tax in Makassar City in Indonesia: A CGE Modeling Approach”, 日本地域学会第50回(2013年)年次大会学術発表論文集, Web Site, 2013.10.13
- [16]Any Wahyuni, Yuzuru Miyata and Hiroyuki Shibusawa, “The Best Construction of the Regional Road to Support CO₂ Emissions Reduction in Critical Area: A Case Study of Maros-Watampone Road”, 日本地域学会第50回(2013年)年次大会学術発表論文集, Web Site, 2013.10.13.
- [17]上井啓太・中澤光一郎・李念・宮田 譲・渋澤博幸, 「次世代自動車によるモーダルシフトの可能性と港湾地域への経済効果に関する研究」, 日本地域学会第50回(2013年)年次大会学術発表論文集, Web Site, 2013.10.13
- [18]菅原喬史・宮田 譲・渋澤博幸, 「次世代自動車生産の経済波及効果の分析：韓国産業連関表を用いて」, 日本地域学会第50回(2013年)年次大会学術発表論文集, Web Site, 2013.10.13.
- [19]Any Wahyuni, Yuzuru Miyata and Hiroyuki Shibusawa, “Economic Analysis of the Impact of Carbon Tax on the Economy of Makassar City, Indonesia”, 60th Annual North American Meetings of the Regional Science Association International, Atlanta, USA, 2013.11.13
- [20]Hiroyuki Shibusawa and Yuzuru Miyata, “Economic Impacts of Hybrid and Electric Vehicles in Japan, China and Korea : Multi-Regional Input-Output Applications”, 60th Annual North American Meetings of the Regional Science Association International, Atlanta, USA, 2013.11.14
- [21]Yuzuru Miyata and Hiroyuki Shibusawa, “A Computable General Equilibrium Analysis of Electric Vehicle Society in Toyohashi City in Japan”, Proceedings of International Conference of Global Network for Innovative Technology, Penang, Malaysia, pp. 56, 2013. 12.5
- [22]Shamsunnahar Khanam, Yuzuru Miyata and Megat Johari Megat Mohd Noor, “Sustainable Development through Environmental-Friendly Vehicle - A CGE Modeling Approach -”, International Conference on Engineering Education 2013, Madinah, Kingdom of Saudi Arabia, 2013.12.25
- [23]藤井友章・宮田 譲・渋澤博幸, 「豊橋市における電気自動車普及の環境・経済的応用一般均衡分析」, 平成25年度土木学会中部支部研究発表会, 岐阜大学, CD-ROM, 2014.3.7
- [24]福田堯秀・宮田 譲・渋澤博幸, 「インドネシア・マカッサル市における炭素税導入による経済的影響の分析ー応用一般均衡モデルによる分析ー」, 平成25年度土木学会中部支部研究発表会, 岐阜大学, CD-ROM, 2014.3.7
- [25]渋澤博幸・宮田 譲, 「電気自動車によるモーダルシフトの可能性に関する研究」, 2014年度日本応用経済学会春季大会, 徳島大学, 2014.6.21
- [26]Yuzuru Miyata, Hiroyuki Shibusawa and Indrawan Permana, “An Analytic Urban Economic Analysis of Illegal Settlements in Flood Prone Areas in Palangkaraya City in Indonesia”, 13th Summer Institute of the Pacific Regional Science Conference, Loja, Ecuador, 2014.7.23-24
- [27]Yuzuru Miyata and Hiroyuki Shibusawa, “A Dynamic Rural-Urban-Natural Environment Interactive Model of Palangkaraya City in Indonesia”, 13th Summer Institute of the Pacific Regional Science Conference, Loja, Ecuador, 2014.7.23-24
- [28]Yuzuru Miyata, Hiroyuki Shibusawa and Tomoaki Fujii, “A CGE Analysis of Economic and Environmental

- Impacts of Electric Vehicle Society in Toyohashi City in Japan”, 13th Summer Institute of the Pacific Regional Science Conference, Loja, Ecuador, 2014.7.23-24
- [29] Yuzuru Miyata, Hiroyuki Shibusawa and Any Wahyuni, “Economic and Environmental Efficiency for the Makassar City Economy: A CGE Approach”, 13th Summer Institute of the Pacific Regional Science Conference, Loja, Ecuador, 2014.7.23-24
- [30] Hiroyuki Shibusawa and Yuzuru Miyata, “Economic Assessment of a Large-Scale Earthquakes in China: Dynamic Spatial CGE Approach”, 13th Summer Institute of the Pacific Regional Science Conference, Loja, Ecuador, 2014.7.23-24
- [31] Yuzuru Miyata, Hiroyuki Shibusawa and Indrawan Permana, “Economic Analysis of Illegal Settlements in Flood Prone Areas in Palangkaraya City in Indonesia - A General Equilibrium Modeling Approach -”, Proceedings of 54th European Regional Science Conference, Saint Petersburg, Russia, USB Memory, 2014.8.27-29
- [32] Yuzuru Miyata and Hiroyuki Shibusawa, “A Dynamic Rural-Urban-Natural Environment Interactive Spatial Model of Palangkaraya City in Indonesia, Proceedings of 54th European Regional Science Conference, Saint Petersburg, Russia, USB Memory, 2014.8.27-29
- [33] Yuzuru Miyata, Hiroyuki Shibusawa and Tomoaki Fujii, “Economic and Environmental Impacts of Electric Vehicle Society in Toyohashi City in Japan - A CGE Modeling Approach -, Proceedings of 54th European Regional Science Conference, Saint Petersburg, Russia, USB Memory, 2014.8.27-29
- [34] Hiroyuki Shibusawa and Yuzuru Miyata, “Economic Assessment of Large-Scale Earthquakes in Asia: A Spatial-CGE Application”, Proceedings of 54th European Regional Science Conference, Saint Petersburg, Russia, USB Memory, 2014.8.27-29
- [35] Any Wahyuni and Yuzuru Miyata, “Environmental Economic Efficiency for the Road Construction in Indonesia: An Analytic Hierarchy Process”, Proceedings of 54th European Regional Science Conference, Saint Petersburg, Russia, USB Memory, 2014.8.27-29
- [36] 石田直也・渋澤博幸・宮田 譲, 「三遠南信地域における地域間産業連関分析に関する研究」, 第 17 回日本環境共生学会学術大会発表論文集, 徳島大学, Web サイト, 2014.9.27-28
- [37] 上井啓太・渋澤博幸・宮田 譲, 「三河港における南海トラフ地震の経済波及効果に関する研究」, 第 17 回日本環境共生学会学術大会発表論文集, 徳島大学, Web サイト, 2014.9.27-28
- [38] 木根田好・渋澤博幸・宮田 譲, 「電気自動車が陸上から海上へのモータリシフトに及ぼす影響に関する研究」, 第 17 回日本環境共生学会学術大会発表論文集, 徳島大学, Web サイト, 2014.9.27-28
- [39] 不破瑞紀・上井啓太・渋澤博幸・宮田 譲, 「町丁大字従業者数を用いた静岡県産業連関モデルと経済効果計測に関する研究」, 第 17 回日本環境共生学会学術大会発表論文集, 徳島大学, Web サイト, 2014.9.27-28
- [40] 木花有沙・中澤光一郎・渋澤博幸・宮田 譲, 「地域間交通リンクの経済効果計測に関する研究」, 第 17 回日本環境共生学会学術大会発表論文集, 徳島大学, Web サイト, 2014.9.27-28
- [41] 伊藤大輔・宮田 譲・渋澤博幸, 「都市群間距離を考慮した都市群成長」, 日本地域学会第 51 回(2014 年)年次大会学術発表論文集, 麗澤大学, CD-ROM, 2014.10.3-5
- [42] 宮田裕規・宮田 譲・渋澤博幸, 「最適経済成長モデルによる環境・経済統合勘定の導出」, 日本地域学会第 51 回(2014 年)年次大会学術発表論文集, 麗澤大学, CD-ROM, 2014.10.3-5
- [43] 水野健太郎・宮田 譲・渋澤博幸, 「南海トラフ巨大地震による都市の土地利用変化の理論的考察: 地震情報提供による影響分析」, 日本地域学会第 51 回(2014 年)年次大会学術発表論文集, 麗澤大学, CD-ROM, 2014.10.3-5
- [44] 藤井友章・宮田 譲・渋澤博幸, 「豊橋市における電気自動車普及の環境・経済影響評価」, 日本地域学会第 51 回(2014 年)年次大会学術発表論文集, 麗澤大学, CD-ROM, 2014.10.3-5
- [45] 福田堯秀・宮田 譲・渋澤博幸, 「インドネシア・マカッサル市における炭素クレジットの環境・経済影響評価」, 日本地域学会第 51 回(2014 年)年次大会学術発表論文集, 麗澤大学, CD-ROM,

2014.10.3-5

- [46]石田直也・渋澤博幸・打田委千弘・富村 圭・宮田 譲,「三遠南信地域を対象とした地域間産業連関分析に関する研究」, 日本地域学会第 51 回(2014 年)年次大会学術発表論文集, 麗澤大学, CD-ROM, 2014.10.3-5
- [47]上井啓太・宮田 譲・渋澤博幸,「三河湾における南海トラフ地震の経済波及効果の計測」, 日本地域学会第 51 回(2014 年)年次大会学術発表論文集, 麗澤大学, CD-ROM, 2014.10.3-5
- [48]木根田好・渋澤博幸・宮田 譲,「電気自動車によるモーダルシフトの可能性に関する研究」, 日本地域学会第 51 回(2014 年)年次大会学術発表論文集, 麗澤大学, CD-ROM, 2014.10.3-5
- [49]Yuzuru Miyata and Hiroyuki Shibusawa, “Economic Impact and CO₂ Emissions of Electric Vehicle Society in Toyohashi City in Japan”, 61st Annual North American Meetings of the Regional Science Association International, Washington DC, USA, 2014.11.13-15
- [50]Any Wahyuni, Yuzuru Miyata and Hiroyuki Shibusawa, “An Analytic Hierarchy Process (AHP) Approach for the Selection of the Best Type of Road Construction in Critical Area”, 61st Annual North American Meetings of the Regional Science Association International, Washington DC, USA, 2014.11.13-15
- [51]Hiroyuki Shibusawa and Yuzuru Miyata, “Modal Shift from Road to Sea Transportation by Electric Vehicles”, 61st Annual North American Meetings of the Regional Science Association International, Washington DC, USA, 2014.11.13-15
- [52]伊藤大輔・宮田 譲・渋澤博幸,「都市群成長モデルにおける交通基盤整備のダイナミクス」, 平成 26 年度土木学会中部支部研究発表会, 豊橋技術科学大学, CD-ROM, 2015.3.6
- [53]水野健太郎・宮田 譲・渋澤博幸,「南海トラフ巨大地震に対する情報提供による都市土地利用変化の理論的考察」, 平成 26 年度土木学会中部支部研究発表会, 豊橋技術科学大学, CD-ROM, 2015.3.6
- [54]宮田 譲・渋澤博幸・藤井友章,「豊橋市における炭素税導入と電気自動車普及の環境・経済的応用一般均衡分析」, 平成 26 年度土木学会中部支部研究発表会, 豊橋技術科学大学, CD-ROM, 2015.3.6
- [55]宮田 譲・渋澤博幸・福田亮秀,「インドネシア・マカッサル市における炭素クレジット導入による環境・経済影響評価」, 平成 26 年度土木学会中部支部研究発表会, 豊橋技術科学大学, CD-ROM, 2015.3.6
- [56]渋澤博幸・不破瑞紀・宮田 譲,「原子力発電施設防災エリアの経済効果計測に関する研究」, 平成 26 年度土木学会中部支部研究発表会, 豊橋技術科学大学, CD-ROM, 2015.3.6

【論文】

- [1]Yuzuru Miyata, Hiroyuki Shibusawa and Shamsunnahar Khanam, “Economic Impacts of an Electric Vehicle Society in Toyohashi City, Japan, - A CGE Modelling Approach -”, IOSR Journal of Business and Management, Vol.2, No.4, pp.29-40, 2012.7.22
- [2]Shamsunnahar Khanam and Yuzuru Miyata, “New Industrial Structure Coping with the Economic Impacts of Shifting Production to Battery-Based Electric Vehicles in Toyohashi City in Japan - A CGE Modeling Approach -”, Regional Science Inquiry, Vol.4, No.3, pp.105-125, 2012.12
- [3]Any Wahyuni and Yuzuru Miyata, “Public Participation in Selection of the Road Construction by Analytic Hierarchy Process for Supporting CO₂ Emissions Reduction: A Case Study of Maros-Watampone Road”, IOSR Journal of Humanities and Social Science, Vol.9, No.1, pp.61-70, 2013
- [4]Yuzuru Miyata, Any Wahyuni and Hiroyuki Shibusawa, “Economic Analysis of the Impact of Carbon Tax on the Economy of Makassar City, Indonesia”, Regional Science Inquiry, Vol.V, No.2, pp.15-31, 2013
- [5]渋澤博幸・菅原喬史・宮田 譲,「韓国における次世代自動車生産の経済効果」, 環境共生, Vol.25, pp.23-32, 2014
- [6]渋澤博幸・宮田 譲・打田委千弘・富村 圭,「越境地域の産業モデルー三遠南信地域の地域間産業連関分析に向けて」, 越境地域政策への視点, 愛知大学三遠南信地域連携研究センター, pp.241-246, 2014

- [7] 洪澤博幸・宮田 譲, 「巨大地震の経済的被害の計測 - 動学的空間応用一般均衡モデルによる分析-」, 地域学研究, Vol.44, No3, pp.261-275, 2014

【受賞】

- [1] 宮田 譲・洪澤博幸, 日本環境共生学会学会賞<環境共生学術賞>論文賞, Does a Decrease in the Population Prevent a Sustainable Growth of an Environmentally Friendly City? - A Comparison of Cases of Decreasing and Increasing Populations of Obihiro Metropolitan Area, Japan by Intertemporal CGE-Modeling Approach - (Interdisciplinary Information Sciences, Vol.14, No1, 2008, pp.1-24), 第14回日本環境共生学会学術大会, 2011.9.17

4. 洪澤博幸 准教授

【展示会】

- [1] 「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, 研究紹介ポスターの展示, 2012.8.25
[2] 「ものづくり博 2012 in 東三河」, 豊橋総合体育館, 研究紹介ポスターの展示, 2012.11.30-12.1
[3] 研究成果展示「低炭素と安心安全を目指す街：豊橋」, 豊橋市役所 東館1階市民ギャラリー, 研究紹介ポスターの展示, 2013.1.7-11
[4] 「豊橋市大学連携調査研究費補助金 研究成果報告展示会」, 豊橋市役所 東館1階市民ギャラリー, 研究紹介ポスターの展示, 2013.9.25-30
[5] おでかけミニ講座 「ぎかだいがやってくる 体験！ 未来ビークルシティ」, こども未来館ここにこ, 研究紹介ポスターの展示, 2013.11.23-24
[6] 「豊橋市大学連携調査研究費補助金 研究成果報告展示会」, 豊橋市役所 東館1階市民ギャラリー, 研究紹介ポスターの展示, 2014.5.19-23
[7] 「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, 研究紹介ポスターの展示, 2014.8.23

【講演会・講座・シンポジウム】

- [1] 洪澤博幸, 「未来ビークルと港湾の地域経済への影響」, 未来ビークルシティリサーチセンター講演会「サステナブルな社会における未来ビークルシティ事業」, 田原文化会館, 2013.11.7
[2] 洪澤博幸, 「三河港に立地する企業の経済波及効果の計測」, 「国際自動車コンプレックス研究会」, 豊橋市民センター（カリオンビル）, 2014.6.19
[3] 洪澤博幸, 「ガソリン車利用から電気自動車によるフェリー利用への転換の可能性について」, 「平成26年度豊橋技術科学大学一般公開講座」, 豊橋技術科学大学, 2014.11.28
[4] 洪澤博幸, 「三河港の経済効果について」, 愛知大学中部地方産業研究所「東三河の経済と社会」公開研究会, 愛知大学, 2014.11.29
[5] 洪澤博幸, 「三遠南信地域を対象とした地域間産業連関分析に関する研究」, 「越境地域政策研究フォーラム」, 愛知大学, 2015.1.31

【学会発表】

- [1] 洪澤博幸・菅原喬史・吉田 操, 「次世代自動車普及の経済効果：中国と日本を対象として」, 日本環境共生学会第15回(2012年度)学術大会発表論文集, pp.23-27
[2] 洪澤博幸・李念・宮田 譲, 「次世代自動車生産と地域経済～産業連関モデルを用いて～」, 「日本地域学会第49回年次大会」, 立正大学, pp.1-15, 2012.10.6-8
[3] Shibusawa, H. and Li, N., “A Comparative Analysis of the Economic Impacts of the Environmental Friendly Vehicles: Input-Output Application”, The 12th PRSCO Summer Institute, 2012, Beijing, China, 3-6 July, 2012, pp.1-15
[4] 神崎陽平・洪澤博幸, 「電動アシスト自転車—経済効果と発展性—」, 日本計画行政学会関東支部・日本社会情報学会共催第7回若手研究交流会予稿集, 名星大学, 東京都, 2013.3.2, pp.192

- [5]Miyata, Y. and Shibusawa, H., “Economic Analysis of Electric Vehicle Society in Toyohashi City Japan -A CGE Modeling Approach-”, 23rd Pacific Conference of the RSAI (PRSCO), Bandung, Indonesia, July 2-4, 2013
- [6]Shibusawa, H., Li, N., Nakazawa, K. and Miyata Y., “Economic Assessment of Environmental Friendly Vehicles -Input-Output Approach-”, 23rd Pacific Conference of the RSAI (PRSCO), Bandung, Indonesia, pp.1-15 (USB Memory), July 2-4, 2013
- [7]菅原喬史・渋澤博幸・宮田 譲, 「韓国における次世代自動車生産の経済効果」, 日本環境共生学会第 16 回(2013 年)学術大会, 豊橋技術科学大学, pp.1-8, 2013.9.28-29
- [8]菅原喬史・渋澤博幸・宮田 譲, 「次世代自動車生産の経済波及効果の分析－韓国産業連関表を用いて－」, 日本地域学会第 50 回(2013 年)年次大会学術発表論文集, pp.1-8, 2013.10.12.
- [9]上井啓太・中澤光一郎・李念・宮田 譲・渋澤博幸, 「次世代自動車によるモーダルシフトの可能性と港湾地域への影響に関する研究」, 日本地域学会第 50 回(2013 年)年次大会学術発表論文集, pp.1-6, 2013.10.12
- [10]Wahyuni, A., Miyata, Y. and Shibusawa, H., “Economic Impacts of Carbon Tax in Makassar City in Indonesia -A CGE Modeling Approach-”, 日本地域学会第 50 回(2013 年)年次大会学術発表論文集, pp.1-6, 2013.10.14
- [11]Shibusawa, H., Miyata, Y. and Li, N., “Economic Impacts of Hybrid and Electric Vehicles in Japan and China -Multi-Regional Input-Output Applications-”, 60th NARSC, Atlanta, USA, November 15, 2013
- [12]Shibusawa, H., Miyata, Y. and Sakurai, K., “Evaluating the Economic Impact of Hybrid and Electric Vehicles in Asia: An Input-Output Application”, 53rd Annual Meeting of the Western Regional Science Association, San Diego, USA, 2014, pp. 1-8, February 18, 2014
- [13]渋澤博幸・宮田 譲, 「電気自動車によるモーダルシフトの可能性に関する研究」, 日本応用経済学会春季大会, pp.1-6, 2014.6.21
- [14]中村 中・渋澤博幸・櫻井一宏・中山恵子, 「豊川流域における水資源マネジメントを考慮した地域経済分析」, 日本応用経済学会春季大会, 徳島大学, pp.1-11, 2014.6.21
- [15]石田直也・渋澤博幸・宮田 譲, 「三遠南信地域における地域間産業連関分析に関する研究」, 日本環境共生学会第 17 回(2014 年度)学術大会発表論文集, 徳島大学, pp.1-6, 2014.9.27
- [16]中村 中・櫻井一宏・渋澤博幸, 中山恵子, 「地域特性を考慮した流域環境政策シミュレーション分析－愛知県豊川流域を対象として－」, 日本環境共生学会第 17 回(2014 年度)学術大会発表論文集, pp.79-85, 2014.9.28
- [17]上井啓太・渋澤博幸・宮田 譲, 「三河港における南海トラフ地震の経済波及効果に関する研究」, 日本環境共生学会第 17 回(2014 年度)学術大会発表論文集, 徳島大学, pp.189-195, 2014.9.28
- [18]木根田好・渋澤博幸・宮田 譲, 「電気自動車が陸上から海上へのモーダルシフトに及ぼす影響に関する研究」, 日本環境共生学会第 16 回(2013 年)学術大会, 徳島大学, pp.312-317, 2014.9.28
- [19]不破瑞紀・上井啓太・渋澤博幸・宮田 譲, 「町丁大字従業者数を用いた静岡県産業連関モデルと経済波及効果計測に関する研究」, 日本環境共生学会第 17 回(2014 年度)学術大会発表論文集, 徳島大学, pp.318-323, 2014.9.28
- [20]木花有沙・中澤光一郎・渋澤博幸・宮田 譲, 「地域間交通リンクの経済効果計測に関する研究」, 日本環境共生学会第 17 回(2014 年度)学術大会発表論文集, 徳島大学, pp.324-328, 2014.9.28
- [21]石田直也・渋澤博幸・打田委千弘・富村圭・宮田 譲, 「三遠南信地域を対象とした地域間産業連関分析に関する研究」, 日本地域学会第 51 回(2014 年)年次大会, 麗澤大学, pp.1-6, 2014.10.3
- [22]上井啓太・渋澤博幸・宮田 譲, 「三河湾における南海トラフ地震の経済波及効果の計測」, 日本地域学会第 51 回(2014 年)年次大会, 麗澤大学, pp.1-6, 2014.10.5
- [23]木根田好・渋澤博幸・宮田 譲, 「電気自動車によるモーダルシフトの可能性に関する研究」, 日本地域学会第 51 回(2014 年)年次大会, 麗澤大学, pp.1-6, 2014.10.5
- [24]伊藤大輔・宮田 譲・渋澤博幸, 「都市群間距離を考慮した都市成長」, 日本地域学会第 51 回(2014

年)年次大会, 麗澤大学, pp.1-6, 2014.10.4

- [25]宮田裕規・宮田 譲・渋澤博幸,「最適経済成長モデルによる環境・経済統合勘定の導出」, 日本地域学会第 51 回(2014 年)年次大会, 麗澤大学, pp.1-6, 2014.10.5
- [26]水野健太郎,「南海トラフ巨大地震による都市の土地利用変化の理論的考察: 地震情報提供による影響分析」, 日本地域学会第 51 回(2014 年)年次大会, 麗澤大学, pp.1-6, 2014.10.5
- [27]藤井友章, 宮田 譲, 渋澤博幸,「豊橋市における電気自動車普及の環境・経済影響評価」, 日本地域学会第 51 回(2014 年)年次大会, 麗澤大学, pp.1-6, 2014.10.5
- [28]福田堯秀・宮田 譲・渋澤博幸,「インドネシア・マカッサル市における炭素クレジットの環境・経済影響評価」, 日本地域学会第 51 回(2014 年)年次大会, 麗澤大学, pp.1-6, 2014.10.5
- [29]Miyata, Y. and Shibusawa, H., “A CGE Analysis of Economic and Environmental Impacts of Electric Vehicle Society in Toyohashi City in Japan”, 13th Summer Institute of the PRSCO, Loja, Ecuador, 2014.7.24
- [30]Miyata, Y. and Shibusawa, H., “An Analytic Urban Economic Analysis of Illegal Settlements in Flood Prone Areas in Palangkaraya City in Indonesia”, 13th Summer Institute of the PRSCO, Loja, Ecuador, 2014.7.25
- [31]Miyata, Y. and Shibusawa, H., “A Dynamic Rural-Urban-Natural Environment Interactive Model of Palangkaraya City in Indonesia”, 13th Summer Institute of the PRSCO, Loja, Ecuador, 2014.7.2
- [32]Shibusawa, H. and Miyata, Y., “Economic Assessment of a Large-Scale Earthquake in China: A Dynamic Spatial CGE Approach”, 13th Summer Institute of the PRSCO, Loja, Ecuador, 2014.7.24
- [33]Miyata, Y., Shibusawa and H., Fujii, T., “Economic and Environmental Impacts of Electric Vehicle Society in Toyohashi City in Japan –A CGE Modeling Approach”, 54th ERSA Congress, Saint Petersburg, Russia, 2014.8.27
- [34]Miyata, Y., Shibusawa, H. and Permana, I., “Economic Analysis of Illegal Settlements in Flood Prone Areas in Palangkaraya City in Indonesia – A General Equilibrium Approach”, 54th ERSA Congress, Saint Petersburg, Russia, 2014.8.27
- [35]Shibusawa, H., Miyata Y., “Economic Assessment of Large-Scale Earthquakes in Asia: A Spatial-CGE Application”, 54th ERSA Congress, Saint Petersburg, Russia, 2014.8.27
- [36]Miyata, Y. and Shibusawa, H., “A Dynamic Rural-Urban-Natural Environment Interactive Spatial Model of Palangkaraya City in Indonesia”, 54th ERSA Congress, Saint Petersburg, Russia, 2014.8.29
- [37]Sakurai, K., Nakamura, A., Kobayashi, S., Shibusawa, H. and Tanji, H., “A Policy of Demand-driven Management for Agricultural Water Use in Japan”, 54th ERSA Congress, Saint Petersburg, Russia, 2014.8.29
- [38]Wahyuni, A., Miyata, Y. and Shibusawa, H., “An Analytic Hierarchy Process (AHP) Approach for Selecting the Best type of Road Construction in Critical Area”, 61st North American Meetings of the RSAI, Washington D.C., 2014.11.13
- [39]Sakurai, K., Shibusawa, H., Nakamura and W., Nakayama, K., “A Dynamic Policy Evaluation Model of the Regional Economy and Water Environment in Toyogawa Basin”, 61st North American Meetings of the RSAI, Washington D.C., pp.1-6, 2014.11.13
- [40]Shibusawa, H. and Miyata, Y., “Modal Shift from Road to Sea Transportation by Electric Vehicles”, 61st North American Meetings of the RSAI, Washington D.C., pp.1-12, 2014.11.14

【論文】

- [1]打田委千弘・渋澤博幸,「東三河の経済および社会構造: 経済成長と全要素生産性」, 「東三河の経済と社会 第7輯」, 愛知大学中部地方産業研究所, 2012, pp.115-130
- [2]渋澤博幸・菅原喬史,「ハイブリッド・電気自動車生産の経済効果」,『環境共生』, Vol.22, pp.28-37, 2013
- [3]Shibusawa, H. and Xu, Z., “Economic Impacts of Hybrid and Electric Vehicles in Japan and China: National and Multi-Regional Input-Output Applications”, Studies in Regional Science, Vol.42 (2), 2013, pp.271-282
- [4]渋澤博幸・宮田 譲,「巨大地震の経済的被害の計測—動学空間応用一般均衡モデルによる分析—」,

地域学研究, Vol.44, No.3, pp.261-275, 2014

[5] 洪澤博幸・菅原喬史・宮田 譲, 「韓国における次世代自動車生産の経済効果」, 環境共生, Vol.25, pp.23-32, 2014

[6] 洪澤博幸・宮田 譲・打田委千弘・富村圭, 越境地域の産業モデル—三遠南信地域の地域間産業連関分析に向けて, 『越境地域政策の視点』, 愛知大学三遠南信地域連携研究センター, pp.241-246, 2014

[7] 洪澤博幸・山口誠・宮田 譲, 「空間応用一般均衡モデルを用いた次世代自動車生産の経済的評価に関する研究」, 雲雀野, No.37, pp.27-37, 2015

【受賞】

[1] 洪澤博幸, 日本地域学会論文賞, 社会的便益の評価手法に関する研究—技術的伝播拡散の外部性を考慮した一般均衡モデルを用いて—, 日本地域学会, 2010.10.10

[2] 宮田 譲・洪澤博幸, 日本環境共生学会学会賞<環境共生学術賞>論文賞, Does a Decrease in the Population Prevent a Sustainable Growth of an Environmentally Friendly City? - A Comparison of Cases of Decreasing and Increasing Populations of Obihiro Metropolitan Area, Japan by Intertemporal CGE-Modeling Approach -(Interdisciplinary Information Sciences, Vol.14, No1, 2008, pp.1-24), 第14回日本環境共生学会学術大会, 2011.9.17

5. 青木伸一 客員教授

【学会発表】

[1] 田中康平・青木伸一・Ernawaty Rasul・井上隆信, 「三河湾奥での貧酸素水塊の発達特性と港湾域の影響について」, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol. 68, No. 2, pp. I_1046- I_1050, 2012

6. 井上隆信 教授

【展示会】

[1] 「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, 研究紹介ポスターの展示, 2012.8.25

[2] 研究成果展示「低炭素と安心安全を目指す街：豊橋」, 豊橋市役所 東館1階市民ギャラリー, 研究紹介ポスターの展示, 2013.1.7-11

[3] おでかけミニ講座「ぎかだいがやってくる体験！ 未来ビークルシティ」, こども未来館ここにこ, 研究紹介ポスターの展示, 2013.11.23-24

[4] 「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, 研究紹介ポスターの展示, 2014.8.23

【学会発表】

[1] 横田久里子・井上隆信・横川雅成・下山 諒, 「梅田川における栄養塩年間流出負荷量の評価」, 第15回日本水環境学会シンポジウム講演集, pp. 55-56, 2012

[2] 田中康平・青木伸一・Ernawaty Rasul・井上隆信「三河湾奥での貧酸素水塊の発達特性と港湾域の影響について」, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol. 68, No. 2, pp. I_1046-I_1050, 2012

[3] 稲垣大輔・井上隆信・横田久里子, 「栄養流出モデルによる梅田川の流入汚濁負荷量の算定」, 第48回日本水環境学会年会, 2014

【国際学会発表】

[1] Ernawaty Rasul, Takanobu Inoue, Shinichi Aoki, Kuriko Yokota, Yoshitaka Matsumoto and Yoko Okubo, “The influence of freshwater on nutrient characteristics in a semi-enclosed bay”, The 16th International Conference on Diffuse Pollution and Eutrophication, pp. 136-137, 2013

【論文】

- [1]Ernawaty Rasul, Takanobu Inoue, Shinichi Aoki, Kuriko Yokota, Yoshitaka Matsumoto and Yoko Okubo and Djumanto Fitrandi, “Influence of tropical cyclone on the water quality in Atsumi Bay”, Journal of Water and Environment Technology, Vol. 11, No.5, pp. 439-451, 2013
- [2]松本嘉孝・佐川志朗・井上隆信・横田久里子・中村高志, 「木曽川中下流域のワンド・タマリの溶存態有機炭素濃度の時空間特性の把握」, 陸の水, Vol. 55, pp. 7-14, 2013
- [3]岩田杉夫・遠藤忠嗣・井上隆信・横田久里子・大久保陽子, 「中小河川からの栄養塩負荷の流出特性」, 水環境学会誌, Vol. 36, No. 2, pp. 39-47, 2013
- [4]横田久里子・井上隆信・横川雅成・下山諒・大久保陽子, 「高頻度調査に基づく河川の窒素・リン流出負荷量の評価」, 環境科学会誌, Vol.23, No.2, pp.140-149, 2013
- [5]Ernawaty Rasul, Takanobu Inoue, Shinichi Aoki, Kuriko Yokota, Yoshitaka Matsumoto and Yoko Okubo, “Nutrient Enrichment and Physical Environmental Effects Caused by Typhoons in a Semi-enclosed Bay”, Journal of Ecotechnology Research, Vol. 17, No. 3, pp. 107-114, 2014

7. 加藤 茂 准教授

【展示会】

- [1]おでかけミニ講座「ぎかだいがやって来る 体験！未来ビークルシティ」, こども未来館ここにこ, 研究紹介ポスターの展示, 2013.11.23-24
- [2]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, 研究紹介ポスターの展示, 2014.8.23

【学会発表】

- [1]Le Dung Quyen・加藤 茂・Dinh Van Vinh, 「1981～2011 年における三河湾奥部での高潮発生特性に関する研究」, 平成 25 年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, II-6, CD-ROM (2014.3.7)
- [2]青木勇介・岡辺拓巳・加藤 茂, 「豊川河口干潟における冬季の流動特性と底質の移動」, 平成 25 年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, II-24, CD-ROM (2014.3.7)
- [3]黒澤愛子・岡辺拓巳・青木勇介・加藤 茂, 「着色砂トレーサー調査のための画像解析手法に関する基礎的研究」, 平成 26 年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, II-10, CD-ROM (2015.3.6, 発表予定)

【国際学会発表】

- [1]Kato, S., T. Okabe, Y. Aoki and S. Kamohara, “Field measurement of sand movement on river-mouth tidal flat using color sand tracing”, Proc. of the 34th Int. Conf. on Coastal Engineering (ICCE2014), 2014 (in press)

【論文】

- [1]加藤 茂・岡辺拓巳・光山英典・中垣 聡, 「着色砂調査と蛍光 X 線分析を併用した河口干潟での土砂移動追跡」, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.69, pp.I_576-I_580, 2013
- [2]加藤 茂・Dinh Van Vinh・Le Dung Quyen・岡辺拓巳, 「三河湾奥部での高潮発生に伴う知多湾での高水位領域の形成機構」, 土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol. 70, No. 2, pp.I_251-I_255, 2014

8. 岡辺 拓巳 助教

【展示会】

- [1]おでかけミニ講座「ぎかだいがやって来る 体験！未来ビークルシティ」, こども未来館ここにこ, 研究紹介ポスターの展示, 2013.11.23-24
- [2]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, 研究紹介ポスターの展示, 2014.8.23

【学会発表】

- [1]青木勇介・岡辺拓巳・加藤 茂,「豊川河口干潟における冬季の流動特性と底質の移動」,平成 25 年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, II-24, CD-ROM (2014.3.7)
- [2]黒澤愛子・岡辺拓巳・青木勇介・加藤 茂,「着色砂トレーサー調査のための画像解析手法に関する基礎的研究」,平成 26 年度土木学会中部支部研究発表会講演概要集, II-10, CD-ROM (2015.3.6, 発表予定)

【国際学会発表】

- [1]Kato, S., T. Okabe, Y. Aoki and S. Kamohara, “Field measurement of sand movement on river-mouth tidal flat using color sand tracing”, Proc. of the 34th Int. Conf. on Coastal Engineering (ICCE2014), 2014 (in press)

【論文】

- [1]加藤 茂・岡辺拓巳・光山英典・中垣 聡,「着色砂調査と蛍光 X 線分析を併用した河口干潟での土砂移動追跡」,土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol.69, pp.I_576-I_580, 2013
- [2]加藤 茂・Dinh Van Vinh・Le Dung Quyen・岡辺拓巳,「三河湾奥部での高潮発生に伴う知多湾での高水位領域の形成機構」,土木学会論文集 B2 (海岸工学), Vol. 70, No. 2, pp.I_251-I_255, 2014

9. 章 忠 教授, 今村 孝 客員准教授

【展示会】

- [1]「オープンキャンパス」,豊橋技術科学大学,未来ビークルシティ RC 体験学習・研究室公開・研究紹介ポスターの展示, 2012.8.25
- [2]「オープンキャンパス」,豊橋技術科学大学, D4-505 研究室公開,ドライビングシミュレータ, 2012.8.25
- [3]「ものづくり博 2012 in 東三河」,ドライビングシミュレータ運転体験,豊橋市総合体育館, 2012.11.30-12.01
- [4]研究成果展示「低炭素と安心安全を目指す街:豊橋」,豊橋市役所 東館 1 階市民ギャラリー,ドライビングシミュレータ運転体験・研究紹介ポスターの展示,2013.1.7-11 (運転体験は2013.1.10-11)
- [5]「オープンキャンパス」,豊橋技術科学大学, C-205,ドライビングシミュレータ体験学習・機材展示, 2013.8.31
- [6]「オープンキャンパス」,豊橋技術科学大学, D1-403 研究室公開,ドライビングシミュレータ, 2013.8.31
- [7]おでかけミニ講座「ぎかだいがやってくる 体験!未来ビークルシティ」,こども未来館ここにこ体験学習,ドライビングシミュレータ体験, 2013.11.23-24
- [8]「オープンキャンパス」,豊橋技術科学大学, C-205 ドライビングシミュレータ,体験学習・機材展示, 2014.8.23
- [9]「オープンキャンパス」,豊橋技術科学大学, D1-403 研究室公開,ドライビングシミュレータ, 2014.8.23

【講座・シンポジウム】

- [1]時習館高校 SS 技術科学講座,ドライビングシミュレータを用いた安全教育,豊橋技術科学大学, D1-403, 2012.9.27-28
- [2]TUT Jr.技術科学教育プロジェクト(時習館 SSH「SS 技術科学」),豊橋技術科学大学, D1-403, 体験学習, 2013.9.5-6
- [3]株式会社デンソー ITS 開発部 担当課長 浜田 隆彦 氏,「ITS の今と未来 ~つながるクルマ社会~」,「平成 24 年度 あいち ITS 大学セミナー」, 本学 (A1-101), 2012.11.05
- [4]株式会社デンソー IC 技術 1 部 担当次長 飯田 眞喜男氏,「ITS と次世代自動車を支える半導体

- 技術」, 「平成25年度 あいちITS大学セミナー」, 本学 (A1-101), 2013.12.16
- [5]株式会社デンソー IC技術1部 担当次長 飯田 眞喜男氏, 「ITS と次世代自動車を支える半導体技術」, 「平成26年度 あいちITS大学セミナー」, 本学 (A1-101), 2014.12.15
- [6]章 忠, 「ドライバ個性に着目した社会共生型安全支援運転に関する研究」, 「豊橋技術科学大学未来ビークルリサーチセンター総括シンポジウム」, 豊橋商工会議所, 2015.3.10

【学会発表】

- [1]荻智成・高橋忠相・今村孝・章 忠・三宅哲夫, 「ドライビングシミュレータを用いた 運転行動意図の付与とその推定に関する研究」, 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門講演会 (ROBOMECH2012), pp.2P1-C11(1)-(4), 2012.05.27-29
- [2]Tetsuo Miyake, Elvin Tiong Chew Lun, Ikuya Fukuyama, Takashi Imamura and Zhong Zhang, "Evaluation of Driving Attentiveness through Usage of Fuzzy Inference", Proc. of the 2012 International Conference on System, Man and Cybernetics (SMC2012, Seoul), pp.518-523, 14-17 Oct, 2012
- [3]Takashi Imamura, Yuto Takeuchi, Zhong Zhang and Tetsuo Miyake, "Estimation for Grasp Behavior of Vehicle Driver by using Steering Wheel Sensor System", Proc. of the 2012 International Conference on System, Man and Cybernetics (SMC2012, Seoul), pp.1515-1519, 14-17 Oct, 2012
- [4]内田皓・章 忠・今村孝・三宅哲夫・秋月拓磨, 「加速度センサを用いたドライバの運転動作計測」, 計測自動制御学会中部支部オープンラボ・学生発表会, 資料なし, 2012.11.22
- [5]佐藤駿佑・三宅哲夫・今村孝・章 忠, 「パルス光による角膜反射像を用いたサッケード検出法」, 計測自動制御学会中部支部オープンラボ・学生発表会, 資料なし, 2012.11.22
- [6]福山育也・三宅哲夫・今村孝・章 忠, 「車両前方画像からの視覚特性を考慮した物体抽出」, 計測自動制御学会システムインテグレーション部門講演会 (SI2012), pp.1898-1903, 2012.12.18-20
- [7]浅川祐樹・章 忠・今村 孝・三宅哲夫, 「ドライバの運転中における反応時間計測とその評価」, 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門講演会 2013 (Robomech2013) pp.2P1-G06(1)-2P1-G06(4), 2013.05.23-24
- [8]岩本拓馬・今村 孝・章 忠・三宅哲夫, 「ハンドルセンサを用いた把持圧力と乗車姿勢の関係解析」・日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門講演会, 2013 (Robomech2013), pp.2P1-G07(1)-2P1-G07(4), 2013.05.23-24
- [9]今村 孝・荻 智成・Elvin Tiong Chow LUN・章 忠・三宅哲夫, 「高校生を対象としたドライビングシミュレータを用いた交通安全教育の試み」, 日本機械学会ロボティクス・メカトロニクス部門講演会, 2013 (Robomech2013), pp.2P1-P07(1)-2P1-P07(4), 2013.05.23-24
- [10]Zhong Zhang, Yuki Asakawa, Takashi Imamura and Tetsuo Miyake, "Experiment Design for Measuring Driver Reaction Time in Driving Situation", Proc. of the 2013 International Conference on System, Man and Cybernetics (SMC2013, Manchester), pp.3699-3703, 14-16 Oct, 2013
- [11]Takashi Imamura, Tomonari Ogi, Zhong Zhang and Tetsuo Miyake, "Study of induction and estimation method for driver's intention by using a driving simulator", Proc. of the 2013 International Conference on System, Man and Cybernetics (SMC2013, Manchester), pp.3322-3326, 14-16 Oct, 2013
- [12]Takashi Imamura, Tomonari Ogi, Elvin Tiong Chew Lun, Zhong Zhang and Tetsuo Miyake, "Trial Study of Traffic Safety Education for High School Students using Driving Simulator", Proc. of the 2013 International Conference on System, Man and Cybernetics (SMC2013, Manchester), pp.4606-4611, 14-16 Oct, 2013
- [13]川野友裕・章 忠・今村 孝・三宅哲夫, 「両耳聴音源方向定位手法の統合インタフェースへの応用」, 第56回自動制御連合講演会, pp.647-650, 2013.11.16-17
- [14]秋月拓磨・章 忠・今村 孝・高橋弘毅, 「軌道アトラクタによる運動時系列の記号化手法の検討」, 第56回自動制御連合講演会, pp.1650-1653, 2013.11.16-17
- [15]香川亮太・章 忠・三宅哲夫・今村 孝, 「交差点右左折時におけるドライバの運転行動解析」, 計測自動制御学会中部支部オープンラボ・若手研究発表会, 2013.11.28

- [16]佐々木大慶・章 忠・三宅哲夫・今村 孝, 「バス用ドライブレコーダの開発とデータ解析」, 計測自動制御学会中部支部オープンラボ・若手研究発表会, 2013.11.28
- [17]石川智規・三宅哲夫・章 忠・今村 孝, 「ドライバの視線計測の高精度化」, 計測自動制御学会中部支部オープンラボ・若手研究発表会, 2013.11.28
- [18]内田 皓・秋月 拓磨・章 忠・今村 孝・三宅 哲夫, 「身体動作解析による個人特徴の抽出」, 日本機械学会東海支部第 63 期総会講演会, pp.272-273, 2014.03.18-19
- [19]Hiroshi Toda and Zhong Zhang, “Study of Arbitrary Real Dilation Factor of Orthonormal Wavelet Basis”, Proc. of the 2014 International Conference on Wavelet Analysis and Pattern Recognition (ICWAPR2014, Lanzhou), pp.140-145, 13-16 Jul, 2014
- [20]Takeshi Kato, Zhong Zhang, Hiroshi Toda, Takashi Imamura and Tetsuo Miyake, “The Novel Directional Selection based on Complex Discrete Wavelet Transform”, Proc. of the 2014 International Conference on Wavelet Analysis and Pattern Recognition (ICWAPR2014, Lanzhou), pp.164-169, 13-16 Jul, 2014
- [21]Zhong Zhang, Kosuke Shimasue, Hiroshi Toda and Tetsuo Miyake, “Achieving Complex Discrete Wavelet Transform by Lifting Scheme using Meyer Wavelet”, Proc. of the 2014 International Conference on Wavelet Analysis and Pattern Recognition (ICWAPR2014, Lanzhou), pp.170-175, 13-16 Jul, 2014
- [22]戸田 浩・章 忠, 「幅広い時間周波数解析を可能にする任意実数ダイレーションファクター正規直交 ウェーブレット基底」, 第 42 回可視化情報シンポジウム, pp.269-272, 2014.07.21-22
- [23]嶋末 昂祐・章 忠・戸田 浩・三宅哲夫, 「Meyer ウェーブレットを用いたリフティングスキームによる複素数離散ウェーブレット変換」, 第 42 回可視化情報シンポジウム, pp.273-276, 2014.07.21-22
- [24]白砂絹和・章 忠・三宅哲夫・戸田 浩, 「Gabor Wavelet を用いたウェーブレット解析の離散化」, 第 42 回可視化情報シンポジウム, pp.277-280, 2014.07.21-22
- [25]加藤 毅・章 忠・戸田 浩・今村 孝・三宅哲夫, 「方向選択性に着目した複素数離散ウェーブレット変換の設計」, 第 42 回可視化情報シンポジウム, pp.281-286, 2014.07.21-22
- [26]加藤 毅・章 忠・戸田 浩・今村 孝・三宅哲夫・石川康宏, 「方向性ウェーブレット変換の提案と医用画像処理応用」, 第 193 回情報処理学会コンピュータビジョンとイメージメディア研究会, pp.IPSJ-CVIM14193013(1)-(8), 2014.09.01-02
- [27]白砂絹和・章 忠・三宅哲夫・戸田 浩, 「Gabor Wavelet を用いたウェーブレット解析の離散化」, 第七回ウェーブレット変換およびその応用に関するワークショップ, pp.S1-003 (1) - (6) , 2014.10.02-03
- [28]加藤 毅・章 忠・戸田 浩・今村 孝・三宅哲夫, 「複素数離散ウェーブレット変換の方向選択性を基にしたアングル検出型ウェーブレット変換の提案」, 第七回ウェーブレット変換およびその応用に関するワークショップ, pp.S2-001 (1) - (5) , 2014.10.02-03
- [29]Takashi Imamura, Tomonari Ogi, Zhong Zhang and Tetsuo Miyake, “Real-time implementation of estimation method for driver’s intention on a driving simulator”, Proc. of the 2014 International Conference on System, Man and Cybernetics (SMC2014, San Diego, USA), pp.1919-1924, 5-8 Oct, 2014
- [30]今村 孝・荻 智成・章 忠・三宅哲夫・香川亮太・浅川祐樹「ドライバ運転行動意図のリアルタイム推定システムの構築と実験的検証」, 第 57 回自動制御連合講演会, pp.1650-1654, 2014.11.10-12

【論文】

- [1] Takuma Akiduki, Zhong Zhang, Takashi Imamura and Tetsuo Miyake, “Time-Series Analysis of Motion by Using Nonlinear Dynamical Systems”, Innovative Computing, Information and Control ICIC Express letters, Vol. 6, Num. 4, pp.1077-1082, 2012
- [2] Md Rizal Othman, Zhong Zhang, Takashi Imamura and Tetsuo Miyake, “Analysis and Evaluation of Driver Inattention Using Support Vector Machine”, Innovative Computing, Information and Control ICIC Express letters, Vol. 6, Num. 6, pp.1453-1458, 2012

- [3]Md Rizal Othman, Zhong Zhang, Takashi Imamura and Tetsuo Miyake, “A Novel Method for driver Inattention Detection Using Driver Operation Signals”, International Journal of Innovative Computing, Information and Control, Vol.8, No.4, pp.2625-2636, 2012
- [4]秋月拓磨・章 忠・今村 孝・三宅哲夫, 「アトラクタを用いた時系列データからの動作特徴の抽出」, 電気学会論文誌 C, Vol.132, No.6, pp.975-982,2012
- [5]Zhong Zhang, Yasudake Aoki, Hiroshi Toda, Takashi Imamura and Tetsuo Miyake, “Real World Source Separation by Combining ICA and VD-CDWT in Time-Frequency Domain”, International Journal of innovative Computing Information and Control, Vol.9 No.4, pp.1737-1757 , 2013
- [6]Takuma Akiduki, Zhong Zhang, Takashi Imamura, Tetsuo Miyake, Hirotaka Takahashi and Michihiro Namba, “Toward Symbolization of Human Motion Data -Statistical Analysis in Symbol Space-”, ICIC Express Letters, Vol. 7, No. 5, pp.1475-1480, 2013
- [7]Zhong Zhang, Hajime Suzuki, Md Rizal Othman, Takashi Imamura and Tetuso Miyake, “Development of a Driver Inattention Detection System using a Dynamic Relational Network”, ICIC Express Letters, Vol. 7, No. 5, pp.1563-1568, 2013
- [8]Md Rizal Othman, Zhong Zhang, Takuma Akiduki, Hajime Suzuki, Takashi Imamura and Tetsuo Miyake, “Development of A Driver Inattention Detection System Using Dynamic Relational Network”, International Journal of innovative Computing Information and Control, Vol.10, No.3, pp.1189-1205, 2014
- [9]Zhong Zhang, Hideaki Ishii, Takashi Imamura and Tetsuo Miyake, “Development of Real-time Abnormal Sound Diagnosis System Using Fast Wavelet Instantaneous Correction”, ICIC Express Letters, Part B: Applications, Vol.5, No.1, pp.201-206, 2014
- [10]Takuma Akiduki, Zhong Zhang, Takashi Imamura, and Hirotaka Takahashi, “Toward Symbolization of Human Motion Data --Time-Series Clustering in Symbol Space--”, ICIC Express Letters, Part B: Applications, Vol.5, No.2, pp.387--392, 2014
- [11]Takuma Akiduki, Zhong Zhang, Takashi Imamura and Hirotaka Takahashi, “Symbolization of Human Motion: Case of Simple Walking Motion”, Innovative Computing, Information and Control Express letters, Part B: Applications, Vol.6, No.4, pp.959-965, 2014
- [12]Zhong Zhang, Md Rizal Othman, Takashi Imamura, Tetsuo Miyake and Lang Wei, “Development of A New Robust Driver Inattention Detection System”, Innovative Computing, Information and Control Express letters, Part B: Applications, Vol.6, No.4, pp.967-973, 2014
- [13]Tetsuo Miyake, Takuya Matsumoto, Takashi Imamura and Zhong Zhang, “Early Detection of Drowsiness based on Facial Expressions in Keeping Awake”, ICIC Express Letters, Vol.8, No.2, pp.591--596, 2014
- [14]Hiroshi Toda, Zhong Zhang, Takashi Imamura, “Perfect-Translation-Invariant Variable-Density Complex Discrete Wavelet Transform”, International Journal of Wavelets, Multiresolution and Information Processing, Vol.11, No.4, pp.1360001-1--1360001-32 (2014.07).
- [15]Hiroshi Toda, Zhong Zhang and Takashi Imamura, “Practical Design of Perfect-Translation-Invariant Real-Valued Discrete Wavelet Transform”, International Journal of Wavelets, Multiresolution and Information Processing, Vol.11, No.4, pp.1460005-1--1460005-27, 2014
- [16]Zhong Zhang, Hiroshi Toda, Takashi. Imamura and Tetsuo Miyake, “A New Variable Filter Band Discrete Wavelet Transform: Theory and Principle”, International Journal of Wavelets, Multiresolution and Information Processing, Vol.11, No.4, pp.1460006-1--1360006.21, 2014
- [17]Zhong Zhang, Jin Ohtaki, Hiroshi Toda, Takashi. Imamura and Tetsuo Miyake, “A New Variable Filter Band Discrete Wavelet Transform: Application”, International Journal of Wavelets, Multiresolution and Information Processing, Vol.11, No.4, pp.1460007-1--1460007-21 , 2014

【社会実験】

- [1]時習館高校 SS 技術科学講座, ドライビングシミュレータを用いた安全教育, 2012 年 9 月

27-28 日*H23, H24 年度受講生を対象に事後アンケートを実施

10. 金澤 靖 准教授

【展示会】

- [1]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, 研究紹介ポスターの展示, 2012.8.25
- [2]「ものづくり博 2012 in 東三河」, 豊橋市総合体育館, 研究紹介ポスターの展示, 2012.11.30-12.01
- [3]研究成果展示「低炭素と安心安全を目指す街：豊橋」, 豊橋市役所 東館 1 階市民ギャラリー, 全周マルチプロジェクト展示を用いた体験型デモ・研究紹介ポスターの展示, 2013.1.7-11
- [4]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, 研究紹介ポスターの展示, デモ「高齢者の立場になって交差点を見ると・・・」, 2013.8.31
- [5]「豊橋市大学連携調査研究費補助金 研究成果報告展示会」, 豊橋市役所 東館 1 階市民ギャラリー, 研究紹介ポスターの展示・全方位カメラを用いた交通弱者のための危険検知システムに関するデモ(09.27), 2013.9.25-30
- [6]おでかけミニ講座「ざかだいがやってくる体験！未来ビークルシティ」, こども未来館ここにこ, 研究紹介ポスターの展示, デモ「体験しよう！ここ, わたってあんぜんかな？ しんごう, みえるかな？」, 2013.11.23-24
- [7]「豊橋市大学連携調査研究費補助金 研究成果報告展示会」, 豊橋市役所 東館市民ギャラリー, 全方位カメラを用いた交通弱者のための危険検知システム・2 色覚の方に色を見やすくするための画像処理, 研究紹介ポスターの展示, 2014.5.22
- [8]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, デモ「ここ, わたって安全かな？ 信号見えるかな？」, 2014.8.23
- [9]「CEATEC 2014」, 幕張メッセ, 全方位カメラを用いた危険検知システムの紹介, 2014.10.9-11

【シンポジウム】

- [1]金澤 靖, 「交通弱者の安全安心のためのシステムの開発」, 「豊橋技術科学大学未来ビークルリサーチセンター総括シンポジウム」, 豊橋商工会議所, 2015.3.10

【学会発表】

- [1]小野勝也・金澤 靖, 「全方位画像における直線当てはめの標準変位を用いた衝突検知」, 平成 24 年度電気関係学会東海支部連合大会, 豊橋技術科学大学, 2012.9.24-25
- [2]脇元 翔・橋本尚孝・金澤 靖・太田直哉, 「色覚障害者の識別率向上のための画像への情報付加に関する検討」, 平成 24 年度電気関係学会東海支部連合大会, 豊橋技術科学大学, 2012.9.24-25
- [3]K. Wakimoto, Y. Kanazawa and N. Ohta, “Color image enhancement for dichromats by additive image noise”, 第 16 回 画像の認識・理解シンポジウム(MIRU2013), 国立情報学研究所, 2013.7.30-8.1
- [4]Y. Tanno and Y. Kanazawa, “Image Matching for Repetitive Patterns by Clustering and Transforming in Feature Space”, The 2nd IAPR Asian Conference on Pattern Recognition, Okinawa, Japan, Nov. 5-8, 2013
- [5]Y. Kanazawa, Y. Sugaya and K. Kanatani, “Initializing 3-D Reconstruction from Three Views Using Three Fundamental Matrices”, Workshop on Geometric Computation for Computer Vision (GCCV 2013), Guanajuato, Mexico, Oct. 29, 2013
- [6]山崎大輔, 金澤 靖, 「3 画像からの復元を用いた復元形状の評価関数と形状合成への応用」, 第 17 回画像の認識・理解シンポジウム(MIRU2014), 岡山コンベンションセンター, 2014.7.28-31
- [7]常盤勇太, 金澤 靖, 「画像の射影変換における高速化法の比較・検討」, 情報処理学会研究報告グラフィックスと CAD(CG), 2014-CG-156(6), pp.1-6, 2014.9.9

【論文】

- [1]K. Wakimoto, Y. Kanazawa and N. Ohta, “Color image enhancement for dichromats by additive image noise”,

IPJSJ Trans. CVA, Vol.5(2013), pp.45-49, June 2013

- [2]Y. Kanazawa, Y. Sugaya and K. Kanatani, "Decomposing three fundamental matrices for initializing 3-D reconstruction from three views", IPJSJ Trans. CVA, Vol.6(2014), pp.120-131, Nov. 2014

11. 櫻井庸司 教授, 東城友都 助教

【展示会】

- [1]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, 研究紹介ポスターの展示, 2012.8.25
[2]研究成果展示「低炭素と安心安全を目指す街：豊橋」, 豊橋市役所 東館1階市民ギャラリー, 研究紹介ポスターの展示, 2013.1.7-11
[3]おでかけミニ講座「ぎかだいがやってくる体験！未来ビークルシティ」, こども未来館ここにこ, 研究紹介ポスターの展示, 2013.11.23-24
[4]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, 研究紹介ポスターの展示, 2014.8.23

【講演会】

- [1]櫻井庸司, 「リチウムイオン電池の現状と課題」, 未来ビークルシティリサーチセンター講演会「サステナブルな社会における未来ビークルシティ事業」, 田原文化会館, 2013.11.7

【学会発表】

- [1]綱木彰洋・吉岡雄太郎・Bin Hasanoor Mohamad Syajiril・福田健人・石原侑樹・稲田亮史・櫻井庸司, 「カルシウムイオン電池用 Ca_xCoO_2 正極の電気化学特性」, 第53回電池討論会, 3E04, 2012.11.16
[2]吉岡雄太郎・石川誠也・Bin Hasanoor Mohamad Syajiril・福田健人・石原侑樹・綱木彰洋・稲田亮史・櫻井庸司, 「カルシウムイオン電池用 CaV_2O_5 正極の合成および特性」, 第53回電池討論会, 3E05, 2012.11.16
[3]福田健人・吉岡雄太郎・稲田亮史・櫻井庸司, 「カルシウムイオン伝導性 $\text{Ca-}\beta$ アルミナの合成条件の検討」, 平成24年度電気関係学会東海支部連合大会, Po2-26, 2012.9.25
[4]吉岡雄太郎・石川誠也・福田健人・稲田亮史・櫻井庸司, 「カルシウムイオン電池用 CaV_2O_5 正極の合成法の検討」, 平成24年度電気関係学会東海支部連合大会, Po2-27, 2012.9.25
[5]Ryoji Inada, Koji Kusakabe, Takayuki Tanaka and Yoji Sakurai, "Synthesis and properties of Al-free $\text{Li}_{7-x}\text{La}_3\text{Zr}_{2-x}\text{Ta}_x\text{O}_{12}$ garnet related oxides", The 19th International Conference on Solid State Ionics (SSI-19), Kyoto, Japan, June 2-7, 2013
[6]中西悠太・政田千彰・渋川憲太・東條勝・稲田亮史・櫻井庸司, 「エアロゾルデポジション法による LiMn_2O_4 厚膜の作製と特性評価」, 日本セラミックス協会第26回秋季シンポジウム, 1P K04, 信州大学長野キャンパス, 2013.9.4
[7]石田慶一・木村圭祐・日下部晃司・岡田貴之・工藤翔太・稲田亮史・櫻井庸司, 「エアロゾルデポジション法による $\text{Li}_{1.5}\text{Al}_{0.5}\text{Ge}_{1.5}(\text{PO}_4)_3$ 厚膜の作製と評価」, 日本セラミックス協会第26回秋季シンポジウム, 1P K05, 信州大学長野キャンパス, 2013.9.4
[8]高島俊生・今井雄太・伊藤龍太・成美憲吾・稲田亮史・櫻井庸司, 「カーボン被覆を施した $\text{Ti}_2\text{Nb}_{10}\text{O}_{29}$ 負極材料の特性評価」, 日本セラミックス協会第26回秋季シンポジウム, 1P K06, 信州大学長野キャンパス, 2013.9.4
[9]川尻修平・末留春生・前田伸明・歌川正博・稲田亮史・辻川知伸・櫻井庸司, 「粒子-集電体一体型微小電極によるリチウムイオン電池電極用材料の単粒子測定」, 第54回電池討論会, 3F14, 2013.10.9
[10]杉浦洋介・前田伸明・吉岡雄太郎・TOULEE YANGXIAISY・稲田亮史・辻川知伸・櫻井庸司, 「カルシウムイオン電池用 Ca_xCoO_2 正極の合成および特性」, 第54回電池討論会, 3C13, 2013.10.9
[11]前田伸明・杉浦洋介・Mohamad Syahjaril bin Hasanoor・押田憲幸・稲田亮史・櫻井庸司, 「マグネシウムイオン電池用 $\text{Mg}_{0.5}\text{CoO}_2$ 正極材料の合成および特性評価」, 第54回電池討論会, 3C01,

2013.10.9

- [12]高島俊生・今井雄太・成美憲吾・稲田亮史・櫻井庸司, 「 $\text{Ti}_2\text{Nb}_{10}\text{O}_{29}$ 負極材料のレート特性向上に関する検討」, 第54回電池討論会, 1D06, 2013.10.7
- [13]大木秀晃・小林直登・南出大旺・稲田亮史・櫻井庸司, 「リチウムイオン電池用グラファイト負極の局所電位計測に関する基礎検討」, 第44回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 2B03, 静岡大学浜松キャンパス, 2013.11.2-3
- [14]小林直登・岩井辰也・大木秀晃・南出大旺・稲田亮史・櫻井庸司, 「リチウムイオン電池用グラファイト負極上に析出したリチウムデンドライトの経時変化」, 第44回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 2B02, 静岡大学浜松キャンパス, 2013.11.2-3
- [15]谷原健吾・福田健人・石原侑樹・田和速人・稲田亮史・櫻井庸司, 「カルシウムイオン伝導性 $\text{Ca-}\beta$ 」アルミナの合成およびその電極応用に関する検討」, 第44回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 1B04, 静岡大学浜松キャンパス, 2013.11.2-3
- [16]Mohamad Syahjaril Hasanoor, 谷原健吾, 押田憲幸, 稲田亮史, 櫻井庸司, 「マグネシウムイオン電池用合金系負極の合成および評価」, 第44回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 1B02, 静岡大学浜松キャンパス, 2013.11.2-3
- [17]Kenta Shibukawa, Ryoji Inada and Yoji Sakurai, “Characterization of As-deposited $\text{Li}_4\text{Ti}_5\text{O}_{12}$ Thick Film Electrode by Aerosol Deposition Method”, ACEPS-7, 1P-08, Osaka, Japan, Nov. 24-27, 2013.
- [18]Ryoji Inada and Yoji Sakurai, “Research and Development of All-Solid-State Lithium-Ion Batteries”, IGNITE-2013, Penang, Malaysia, Dec. 5, 2013
- [19]石原侑樹・谷原健吾・田和速人・稲田亮史・櫻井庸司, 「カルシウムイオン電池用チタン酸化物系負極の合成および特性」, 平成25年度日本セラミックス協会東海支部学術研究発表会, C17, 名城大学, 2013.12.7
- [20]吉岡雄太郎・Mohamad Syahjaril bin Hasanoor・杉浦洋介・TOULEE YANGXAISY・稲田亮史・櫻井庸司, 「カルシウムイオン電池用 CaV_2O_5 正極の表面修飾効果」, 平成25年度日本セラミックス協会東海支部学術研究発表会, C18, 名城大学, 2013.12.7
- [21]木村圭祐・岡田貴之・稲田亮史・櫻井庸司, 「固相法によるリチウムイオン伝導性ペロブスカイト構造 $\text{Li}_{3/8}\text{Sr}_{7/16}\text{Ta}_{3/4}\text{Zr}_{1/4}\text{O}_3$ の合成と評価」, 平成25年度日本セラミックス協会東海支部学術研究発表会, C19, 名城大学, 2013.12.7
- [22]日下部晃司・工藤翔太・稲田亮史・櫻井庸司, 「リチウムイオン伝導性ガーネット構造 $\text{Li}_{7-x}\text{La}_3\text{Zr}_{2-x}\text{Ta}_x\text{O}_{12}$ の合成と特性評価」, 平成25年度日本セラミックス協会東海支部学術研究発表会, C20, 名城大学, 2013.12.7
- [23]石田慶一・稲田亮史・櫻井庸司, 「エアロゾルデポジション法による $\text{Li}_{1.5}\text{Al}_{0.5}\text{Ge}_{1.5}(\text{PO}_4)_3$ 厚膜の作製と評価」, 平成25年度日本セラミックス協会東海支部学術研究発表会, C23, 名城大学, 2013.12.7
- [24]政田千彰・中西悠太・東條勝・稲田亮史・櫻井庸司, 「エアロゾルデポジション法による $\text{LiNi}_{0.5}\text{Mn}_{1.5}\text{O}_4$ 厚膜の作製と評価」, 平成25年度日本セラミックス協会東海支部学術研究発表会, C24, 名城大学, 2013.12.7
- [25] Yoji Sakurai, Shuhei Kawashiri, Haruki Suetome, Nobuaki Maeda, Masahiro Utagawa, Ryoji Inada and Tomonobu Tsujikawa, “Single Particle Measurement of Battery Electrode Materials by the Particle/Current Collector Integrated Microelectrode”, 65th Annual ISE Meeting, Mon s05, Lausanne, Switzerland, 2014.8.31-9.5
- [26]Ryoji Inada, Yuta Nakanishi, Chiaki Masada, Masaru Tojo, Tomohiro Tojo and Yoji Sakurai, “Electrochemical Properties of LiMn_2O_4 - $\text{Li}_7\text{La}_3\text{Zr}_2\text{O}_{12}$ Composite Film Electrode Fabricated by Aerosol Deposition Method”, 2014 ECS and SMEQ Joint International Meeting, Abstract #40296, Cancun, Mexico, 2014.10.5-10
- [27]日下部晃司・岡田貴之・東城友都・稲田亮史・櫻井庸司, 「ガーネット系酸化物固体電解質 $\text{Li}_{6.5}\text{La}_3\text{Zr}_{1.5}\text{Ta}_{0.5}\text{O}_{12}$ の特性に及ぼす Al 添加の影響」, 日本セラミックス協会第27回秋季シンポジ

- ウム, 鹿児島大学・郡元キャンパス, 1PR04, 2014.9.9-11
- [28]政田千彰・東條勝・小西亮・山下優・東城友都・稲田亮史・櫻井庸司, 「エアロゾルデポジション法による活物質-固体電解質複合厚膜電極の作製」, 日本セラミックス協会第 27 回秋季シンポジウム, 鹿児島大学・郡元キャンパス, 1PR06, 2014.9.9-11
- [29]木村圭祐・東城友都・稲田亮史・櫻井庸司, 「ペロブスカイト構造リチウムイオン伝導体 $\text{Li}_{3/8}\text{Sr}_{7/16}\text{Ta}_{3/4}\text{Zr}_{1/4}\text{O}_3$ の合成および特性評価」, 日本セラミックス協会第 27 回秋季シンポジウム, 鹿児島大学・郡元キャンパス, 1PR09, 2014.9.9-11
- [30]稲田亮史・森友也・高島俊生・成美憲吾・東城友都・櫻井庸司, 「リチウムイオン電池用チタニウムニオブ複酸化物負極材料 $\text{Ti}_{1-x}\text{Nb}_{2+x}\text{O}_7$ の合成および特性」, 第 55 回電池討論会, 京都国際会議場, 1D04, 2014.11.19-21
- [31]川尻修平・歌川正博・津田貴郎・山口慎平・東城友都・稲田亮史・松下傑・櫻井庸司, 「集電体一体型微小電極による $\text{Li}_4\text{Ti}_5\text{O}_{12}$ 単一粒子の電気化学特性評価」, 第 55 回電池討論会, 京都国際会議場, 3D22, 2014.11.19-21
- [32]杉浦洋介・押田憲幸・田和速人・南亮司・東城友都・稲田亮史・櫻井庸司, 「カルシウムイオン電池用プルシアンブルー類似体正極材料の合成及び特性」, 第 55 回電池討論会, 京都国際会議場, 1H21, 2014.11.19-21
- [33]小林直登・加藤亮・南出大旺・Ho Wei Sheng・渡邊竜也・東城友都・稲田亮史・櫻井庸司, 「リチウムイオン電池用グラファイト塗布電極上に析出したリチウムデンドライトの ex-situ ^7Li NMR 測定」, 第 45 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 中部大・春日井キャンパス, 1C05, 2014.11.29-30
- [34]政田千彰・東條勝・小西亮・山下優・東城友都・稲田亮史・櫻井庸司, 「エアロゾルデポジション法による活物質-固体電解質複合厚膜電極の作製および特性」, 第 45 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 中部大・春日井キャンパス, 1C08, 2014.11.29-30
- [35]成美憲吾・森友也・東城友都・稲田亮史・櫻井庸司, 「リチウムイオン電池用他元素置換バナジウム酸リチウム負極の合成および特性」, 第 45 回中部化学関係学協会支部連合秋季大会, 中部大・春日井キャンパス, 1C03, 2014.11.29-30
- [36]谷原健吾・吉井将人・東城友都・稲田亮史・櫻井庸司, 「エアロゾルデポジション法による $\text{Ca-}\beta$ ” アルミナの成膜および評価」, H26 年度日本セラミックス協会東海支部学術研究発表会, 名工大・鶴舞キャンパス, D7, 2014.12.6

【論文】

- [1]Ryoji Inada, Koji Kusakabe, Takayuki Tanaka, Shota Kudo, Yoji Sakurai, “Synthesis and properties of Al-free $\text{Li}_{7-x}\text{La}_3\text{Zr}_{2-x}\text{Ta}_x\text{O}_{12}$ garnet related oxides”, Solid State Ionics, 262, 568-572, 2014
- [2]Ryoji Inada, Kenta Shibukawa, Chiaki Masada, Yuta Nakanishi and Yoji Sakurai, “Characterization of as-deposited $\text{Li}_4\text{Ti}_5\text{O}_{12}$ thin film electrode prepared by aerosol deposition method”, J. Power Sources, 253, 181-186, 2014
- [3]Ryoji Inada, Keisuke Kimura, Koji Kusakabe, Tomohiro Tojo and Yoji Sakurai, “Synthesis and lithium-ion conductivity for perovskite-type $\text{Li}_{3/8}\text{Sr}_{7/16}\text{Ta}_{3/4}\text{Zr}_{1/4}\text{O}_3$ solid electrolyte by powder-bed sintering”, Solid State Ionics, 261, 95-99, 2014
- [4]Toshiki Takashima, Tomohiro Tojo, Ryoji Inada and Yoji Sakurai, “Characterization of mixed titanium-niobium oxide $\text{Ti}_2\text{Nb}_{10}\text{O}_{29}$ annealed in vacuum as anode material for lithium-ion battery”, J. Power Sources, 276, 113-119, 2015

【新聞掲載】

- [1]日本経済新聞, 「「ポストリチウムイオン」開発競争 電池容量、倍増も」, 2011.10.24

12. 大平 孝 教授, 田村昌也 准教授, 坂井尚貴 助教

【展示会】

- [1]「ワイヤレステクノロジーパーク」, パシフィコ横浜, 市販タイヤを用いた電力伝送による白熱球の点灯実演, 2012.7.5-6
- [2]「イノベーションジャパン」, 有楽町国際フォーラム, 市販タイヤを用いた電力伝送による白熱球の点灯実演, 2012.9.27-28
- [3]「CEATEC2012」, 幕張メッセ, 市販タイヤを用いた電力伝送による白熱球の点灯実演, 2012.10.2-5
- [4]「ETEV, メッセ・ニュルンベルグ」, 1/32 スケールモデル EVER システムの動態, 2012.10.16-17
- [5]「APIRC2012」, 伊良湖シーパーク&スパ, 1/32 スケールモデル EVER システムの動態, 2012.11.15-16
- [6]「クルマ地球博」, 愛・地球博記念公園, 市販タイヤを用いた電力伝送による白熱球の点灯実演, 2012.11.16-18
- [7]「科学三昧 in あいち」, 自然科学研究機構岡崎コンファレンスセンター, EVER の動態, 2012.12.26
- [8]研究成果展示「低炭素と安心安全を目指す街: 豊橋」, 豊橋市役所 東館 1 階市民ギャラリー, 電化道路電気自動車 1/10 モデル動態実演, 研究紹介ポスターの展示, 2013.1.7-11 (デモは, 1/7 のみ)
- [9]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, デモ (EVER の実演等), 研究紹介ポスターの展示, Aug.31, 2013
- [10]「Microwave Exhibition, Pacifico Yokohama」, デモ (EVER の実演等), 研究紹介ポスターの展示, Nov. 27-29, 2013
- [11]お出かけミニ講座「ぎかだいがやってくる 体験! 未来ビークルシティ」, こども未来館ここに, 研究紹介ポスターの展示, Nov.23-24, 2013
- [12]「あいち ITS ワールド2013」, ポートメッセなごや(名古屋市国際展示場), EVER の動態, Dec. 12-15, 2013
- [13]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, 1/10 スケールモデル EVER システムの動態, 研究紹介ポスターの展示, 2014.8.23
- [14]「CEATEC JAPAN 2014」, 幕張メッセ, ワイヤレス電動カートの実演, 豊橋技術科学大学 (大平研究室) /大成建設 (株), Oct. 07-11, 2014
- [15]「MWE2014」, パシフィコ横浜, 高周波分野に関する研究発表, 豊橋技術科学大学 (田村研究室), Dec. 10-12, 2014

【講演会・講座・シンポジウム・セミナー】

- [1]「自動車技術会中部支部技術交流会」, 安城市アイシン年金基金会館, 2012.8.3
- [2]「電気関係学会東海支部連合大会」, 豊橋技術科学大学, 2012.9.24-25
- [3]大平孝, 「走行中の電気自動車へ路面から給電する技術の開発」, 「未来ビークルシティリサーチセンター第16回シンポジウム」, 豊橋技術科学大学, 2012.12.10
- [4]「電子情報通信学会東海支部 第二回一般講演会」, 豊田工業高等専門学校, Jun. 21, 2013
- [5]大平 孝, 「未来の電気自動車」, 未来ビークルシティリサーチセンター講演会「サステナブルな社会における未来ビークルシティ事業」, 田原文化会館, Nov. 7, 2013
- [6]「さかい IPC 環境ビジネス研究会セミナー」, 堺市産業振興センター, Oct.17, 2013
- [7]大平 孝, 「ワイヤレス電力伝送システム設計の基礎理論」, 「WPT2014 基調講演」, 東京ビックサイト, 2014.5.28
- [8]大平 孝, 「車両用無線給電技術」, 日本学術振興会第131 薄膜委員会研究会, チサンホテル新大阪, 2014.6.18
- [9]大平 孝, 「石炭, 石油, 電池に続く第4世代移動手段～走行中ワイヤレス給電の電気自動車～」, 西日本地域高等専門学校技術職員特別研修会, 豊橋技術科学大学, 2014.8.21
- [10]大平 孝, 「石炭, 石油, 電池に続く第4世代移動手段～学生手作り: 模型ラジコンカーをバッテリーレスに改造!～」, 「電子情報通信学会北陸支部講演会」, 福井工業高等専門学校, 2014.11.20

- [11]大平 孝, 「石炭, 石油, 電池に続く第4世代移動手段～走行中ワイヤレス給電の電気自動車～」,
「次世代ワイヤレス通信技術講座」, ハービス PLAZA, 2014.11.21
- [12]大平 孝, 「バッテリーレス電動カートの走行実験」, 「豊橋技術科学大学未来ビークルリサーチセン
ター総括シンポジウム」, 豊橋商工会議所, 2015.3.10

【学会発表等】

- [1]Takashi Ohira, “Via-Wheel Power Transfer to Running EVs (invited)”, Energy Transfer for Electric Vehicles Conference, ETEV2012, Nuremberg, Germany, October 2012
- [2]鈴木良輝・鳥井俊宏・水谷 豊・杉浦貴光・坂井尚貴・上原秀幸・大平 孝, 「車両タイヤによるゼ
ロギャップ無線電力伝送」, ワイヤレス・テクノロジー・パーク, アカデミアプログラム, 横浜, July
2012
- [3]Yoshiki Suzuki, Takamitsu Sugiura, Naoki Sakai, Masahiro Hanazawa and Takashi Ohira, “Dielectric
Coupling from Electrified Roadway to Steel-Belt Tires Characterized for Miniature Model Car Running
Demonstration”, IEEE MTT-S International Microwave Workshop Series on Innovative Wireless Power
Transmission, IMWS-IWPT2012, pp.35-38, Kyoto, May 2012
- [4]Takamitsu Sugiura, “High Efficiency Rectifier in Electric Power Feed System to Running Automobiles though
Tires”, IEEE AP/MTT-S Midland Student Express 2012 Spring, S3-4, Nagoya, April 2012
- [5]Masahiro Hanazawa, Naoki Sakai and Takashi Ohira, “SUPRA: Supply Underground Power to Running
Automobiles”, IEEE International Electric Vehicle Conference, IEVC2012, Greenville, March 2012
- [6]鈴木 良輝・鳥井 俊宏・坂井 尚貴・大平 孝, 「電化道路電気自動車 EVER 実証実験」, ワイヤ
レス・テクノロジー・パーク, 横浜, 2013-05
- [7]坂井尚貴, 「「1G:石炭 2G:石油 3G:電池」に続く第4世代自動車」, NE ジャパン ワイヤレス・
テクノロジー・アワード 2013 記念講演, 東京国際展示場, May 2013
- [8]一瀬健人・南 昂孝・大平 孝, 「BJT コルピッツ発振器の発振条件及び Q ファクタ解析」 信学
ソ大, C-2-7, Sept. 2013
- [9]南 昂孝・一瀬 健人・大平 孝, 「伝送線路帰還発振回路における FET 電圧増幅率と Q ファクタ」
信学ソ大, C-2-8, pp.33, Sept. 2013
- [10]山田 恭平・大平 孝, 「負荷変動に対して定変圧比となるトランスレス変圧器の提案」, 2013 信
学ソ大 (通信), 分冊 2, no.B-9-3, p.202, Sept. 2013
- [11]大平 孝, 「ワイヤレス電力伝送システム設計の基礎理論(基調講演)」, NICT/YRP ワイヤレス・
テクノロジー・パーク WPT2014, Tokyo, May 2014
- [12]大平 孝, 「電界結合磁界結合ワイヤレス電力伝送の kQ 積と最大有能電力効率公式」, 信学総大,
BCS-1-1, p.16, Mar. 2014
- [13]大平 孝, 「電圧電流で理解する最大効率と kQ 積: スミスチャートも S パラメータも用いない明
快計算法 (招待講演)」, MWE2014, パシフィコ横浜, Dec. 2014

【論文】

- [1]Takashi Ohira, “Power efficiency and optimum load formulas on RF rectifiers featuring flow-angle equations”,
IEICE Electronics Express, ELEX, vol. 10, no. 11, pp.1-9, June 2013
- [2]大平 孝, 「疑似線形理論による発振回路注入同期現象の定式化-紙と鉛筆でロックレンジと Q ファ
クタを探索する-」 信学論 C, vol. J96-C, No.12, pp. 454-462, 2013
- [3]大平 孝, 「電化道路電気自動車, 自動車技術, 特集: 進化する道路関連技術」, vol. 67, no. 10,
pp. 47-50, Oct. 2013
- [4]鈴木良輝・水谷 豊・杉浦貴光・坂井尚貴・大平 孝, 「電化道路をタイヤ集電で走行する電
気自動車の 1/32 スケールモデル試作実験」, 電学論 D, vol.134, no.7, pp.675-682, 2014.
- [5]Takashi Ohira, “Maximum available efficiency formulation based on a black-box model of linear two-port

- power transfer systems”, IEICE Electronics Express, ELEX, vol.11, no.13, pp.1-6, #20140448, June 2014
- [6]Takashi Ohira, “Extended k-Q product formulas for capacitive- and inductive-coupling wireless power transfer schemes”, IEICE Electronics Express, ELEX, vol. 11, no. 9, pp.1-7, #20140147, May 2014

【国際会議】

- [1]Yuri Kitagawa, “Prototype RF Inverter for 1/10 Scale EVER”, IEEE AP/MTT-S Midland Student Express 2013 Spring, S2-1, Nagoya, April 2013
- [2]Takumi Honda, “Electromagnetic Analysis on a Basic Model for Via-Wheel Power Transfer”, IEEE AP/MTT-S Midland Student Express 2013 Spring, S2-2, Nagoya, April 2013
- [3]Takashi Ohira, “No Oil, No Coil, Just V-WPT”, IEEE Distinguished Microwave Lecture, Perugia, May 2013
- [4]Takashi Ohira, “Challenge for 4G Mobility”, IEEE Distinguished Microwave Lecture, Rome, May 2013
- [5]Takashi Ohira, “Via-Wheel Power Transfer to Vehicles in Motion (special talk and exhibition)”, IEEE Wireless Power Transfer Conference, WPTC2013, pp.242-246, Perugia, May 2013
- [6]Minoru Mizutani, Mondo Aoyama and Takashi Ohira, “Real-Time Load Tracking Circuit for Wireless Transfer System”, Interdisciplinary Research and Global Outlook Conference 2013, p.83, Aichi, Japan, Oct 2013
- [7]Kyohei Yamada, Takanari Minami, Sonshu Sakihara, Tuya Wuren and Takashi Ohira, “Injection-locking-range estimation based on Q factor and experimental verification for Hartley oscillator”, Interdisciplinary Research and Global Outlook Conference 2013, p. 84, Aichi, Japan, Oct. 2013
- [8]Takashi Ohira, “Circuit Q Factor as a Basic But Still Ambiguous Index for Resonators and Oscillators”, EuMA European Microwave Doctoral School, Nuremberg, Germany, Oct 2013
- [9]Takashi Ohira, “Basic circuit theory for emerging RF power conversion in future smart grid systems”, IEEE Distinguished Microwave Lecture, pp.1-6, Bangkok, Dec. 2013
- [10] N. Sakai, Y. Suzuki, T. Torii, Y. Kitagawa and T. Ohira, “Electric Vehicle on Electrified Roadway Maquette Demonstrator”, International Conference of Global Network for Innovative Technology 2013, page 1, Penang, Malaysia, Dec. 2013
- [11]Kento Ichinose, “Active Q-factor Estimation and Phase Noise Measurement on Transmission Line Feedback BJT Oscillators”, IEEE AP/MTT-S Midland Student Express 2013 Autumn, S6-3, Kanazawa, Dec. 2013
- [12]M.Aoyama, T.Honda, N.Sakai and T.Ohira, “Prototype Development of 1 kW Via-Wheel Power Transfer with Bus Tire Pair”, IEEE AP/MTT-S Midland Student Express 2014 Autumn, S2-2, pp.7-8, Toyama, Nov. 2014
- [13]Takashi Ohira, “A lucid design criterion for wireless power transfer systems to enhance their maximum available efficiency (invited)”, Asia-Pacific Microwave Conference, APMC2014, pp.1157-1158, Sendai, Nov. 2014
- [14]Naoki Sakai, Takashi Ohira, “Power Transfer k-Q Product Explored for a Variety of Two-port LCR Circuit Topologies”, Progress in Electromagnetics Research Symposium, PIERS 2014, p. 574, Guangzhou, August 2014
- [15]Takashi Ohira, “Via-Wheel Power Transfer for Fourth Generation Road Vehicles (invited)”, SAE Electric Vehicle Technology Conference, EVTeC2014, pp.20144030, Yokohama, May 2014
- [16]Takashi Ohira, “Angular expression of maximum power transfer efficiency in reciprocal two-port systems”, IEEE Wireless Power Transfer Conference, WPTC2014, pp.228-230, Jeju, May 2014
- [17]Y. Miyazaki, T.Torii, N. Sakai and T. Ohira, “DC Load Pulling Characteristic of a 50 W 7 MHz Double-Current Rectifier for Wireless Power Transfer”, IEEE AP/MTT-S Midland Student Express 2014 Spring, S2-3, pp.18-19, Nagoya, April 2014

【技術報告】

- [1]大平 孝, 「高周波整流回路の最適負荷と電力効率の理論式: 半波および全波流通角方程式の導出と活用」, 信学技報, vol. 113, issue 70, MW2013-10, pp.1-6, May 2013
- [2]佐藤翔一・水谷 豊・坂井尚貴・大平 孝, 「リアルタイム負荷追従インピーダンス自動整合回路の提案」, 信学技報, vol. 113, no. 204, MW2013-92, pp.23-28, Sep. 2013
- [3]南 昂孝・大平 孝, 「[特別講演] 平行平板シリーズスタブと伝送線路ループによる立体的なマイクロ波帯バンドパスフィルタ」, 信学技報, vol. 113, no. 110, MW2013-29, pp.1-4, June 2013
- [4]藤岡友美・遠藤哲夫・鈴木良輝・坂井尚貴・大平 孝, 「建物内電化フロア構造の実験的検討」, 信学技報 WPT2014-44, vol.114, no.246, pp.43-46, Oct. 2014
- [5]鈴木良輝・宮崎陽一郎・鳥井俊宏・坂井尚貴・大平 孝・遠藤哲夫・藤岡友美, 「電化フロア電動カート有人走行実験」, 信学技報 WPT2014-43, vol.114, no.246, pp.39-42, Oct. 2014
- [6]大平 孝, 「線形 2 ポート正弦波電力伝送系における最大効率公式: 電源パラメータも共役整合も用いない明快導出法」, 信学技報 EE2014-5, vol.114, no.130, pp.1-4, July 2014
- [7]鈴木良輝・坂井尚貴・大平 孝, 「自動車タイヤとアスファルトスラブによる V-WPT 系の最大有能電力伝達効率解析」, 信学技報 WPT2014-6, vol.114, no.9, pp.27-30, April 2014
- [8]大平 孝, 「高周波電力伝送系における最大効率の統一理論: 共鳴も結合も用いない明快教授法」, 信学技報 WPT2014-5, vol.114, no.9, pp.23-26, April 2014

【受賞・表彰】

- [1]CEATEC AWARD 2012 次世代イノベーション・キーテクノロジー部門準グランプリ, CEATEC JAPAN 2012, 2012.10.10
- [2]波動工学研究室「日経エレクトロニクス読者賞」, NE ジャパン・ワイヤレス・テクノロジー・アワード, 2013.05.21
- [3]波動工学研究室「MWE2013 大学展示優秀発表賞」, Microwave Workshop Exhibition 2013, 2013.11.29
- [4]鈴木良輝 [Excellent Student Award] IEEE, 2014-5-30
- [5]鈴木良輝 「学生研究奨励賞」, 社団法人電子情報通信学会東海支部 2014-6-5
- [6]大平 孝 [フェロー称号] 電子情報通信学会 2014-9-24
- [7]CEATEC AWARD 2014, 米国メディアパネル・イノベーションアワード Transportation 分野ファイナリスト, 2014.10.9
- [8]田村研究室「大学展示コンテスト 優秀賞」MWE 2014 実行委員会, 2014.12.12

【報道】

- [1]Establishing basic formulas for squeezing wireless energy from radio frequency systems, phys.org, 25 Sept. 2013 [<http://phys.org/news/2013-09-basic-formulas-wireless-energy-radio.html>]
- [2]非接触給電, 走行中でも可能に, 日経 Automotive Technology 1 月号, 2015.1.1, pp.72.
- [3][トレたま] タイヤから充電, ワールドビジネスサテライト: テレビ東京, 2014.10.22
- [4]Efficiency Angle: Versatile Design Pilotage for Wireless Power Transfer Systems, Toyohashi University of Technology e-Newsletter, no.16, 24 Sept. 2014
- [5]電化道路を走るシステムを紹介, NHK 総合・名古屋 ニュース, 2014.5.21
- [6]ほっとイブニング: NHK テレビ (2015.1.28)

【新聞掲載】

- [1]中部経済新聞「クルマ未来博 2012 出展企業紹介 走行中車両への給電システム 11 月 16～18 日モリコロパークで」2012.11.1
- [2]東日新聞「豊橋技科大 大平研究室 走行中 EV へのワイヤレス給電技術 日経エレクトロニクス読者賞を受賞」2013.6.22

- [3]東日新聞,「タイヤ集電方式でのカート有人走行 豊橋技科大 実験に成功 大成建設と共同 充電なしで長距離走行も」, 2014.9.29
- [4]毎日新聞,「床から電気供給 カート走行 豊橋技科大が成功」2014.10.4
- [5]朝日新聞,「床から電気カート走る 道路下の高周波電流、タイヤ通じ取り込み 豊橋技科大と企業が有人実験」2014.10.10
- [6]読売新聞,「床から給電 走行成功 豊橋技科大 タイヤ通し、カートに」2014.11.25
- [7]中日新聞,「床から給電 電動カート 豊橋技術科学大学教授らが開発」, 2014.12.19
- [8]東愛知新聞,「走りながら給電が可能 将来的には高速で実用化を 豊橋技科大・大平教授の研究室 電動カート走行実験成功」, 2014.12.21

【寄稿】

- [1]大平 孝,「第3の波:ワイヤレス電力伝送」, 電子情報通信学会エレクトロニクスソサイエティニュースレター, vol.159, p.2, Jan. 2015

13. 後藤尚弘 准教授

【展示会】

- [1]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, 電動アシスト付き自転車の試乗会, 研究紹介ポスターの展示, 2012.8.25
- [2]研究成果展示「低炭素と安心安全を目指す街:豊橋」, 豊橋市役所 東館1階市民ギャラリー, 研究紹介ポスターの展示, 2013.1.7-11)
- [3]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, 電動アシスト付き自転車の試乗会・研究紹介ポスターの展示, 2013.8.31
- [4]「豊橋市大学連携調査研究費補助金 研究成果報告展示会」, 豊橋市役所 東館1階市民ギャラリー, 研究紹介ポスターの展示, 2013.9.25-30.
- [5]お出かけミニ講座「ぎかだいがやって来る 体験!未来ビークルティ」, こども未来館ここにこ
- [6]「オープンキャンパス」, 豊橋技術科学大学, 電動アシスト付き自転車の試乗会・研究紹介ポスターの展示, 2014.8.23

【講座】

- [1]後藤尚弘,「電動二輪車に乗ってみますか?一普及に向けた環境心理学研究」, 豊橋技術科学大学 一般公開講座「ビークルシティの未来」, 2014.11.7
- [2]後藤尚弘,「食から見つめる日本の環境 豊かな食を守るために一エネルギー、廃棄物、地産地消」, 「なごや環境大学共育講座」, 2014. 12.12

【社会実験】

豊橋市役所, (株)スズキと共同社会実験を実施

内容: 豊橋市役所において, 電動バイクを公用車として利用し, 電動バイク利用の有無とその理由に関する社会実験を実施した (H24.11.1~H24.7 月末まで)

【新聞報道】

東日新聞 H24.10.20, 東愛知新聞 H25.1.21 (社会実験に関する記事)

【受賞】

- [1]ESD アワード リサーチ賞 (愛知学長懇話会主催) Study of factors affecting on public intentions and behaviors toward the usage of bicycle-style

14. 三浦 純 教授

【展示会】

- [1]「オープンキャンパス」，豊橋技術科学大学，未来の自動車：自動運転技術・研究紹介ポスターの展示，2014.8.23
- [2]「CEATEC Japan 2014」，幕張メッセ，屋外環境認識および自動運転技術・研究紹介パネル展示，2014.10.9-11

【講演会・講座・シンポジウム】

- [1]三浦 純，「移動ロボットのためのビジョン」，「ビジョン技術の実利用ワークショップ (VIEW2014)」，パシフィコ横浜，2014.12.5

【学会発表】

- [1]Kazuki Misu and Jun Miura, “Specific Person Detection and Tracking by a Mobile Robot using 3D LIDAR and ESPAR Antenna”, Proc. 13th Int. Conf. on Intelligent Autonomous Systems, Padova, Italy, 2014. 7. 16
- [2]谷地中宏基・三浦 純，「移動ロボットによる屋外 3 次元地図生成と通行可能領域の分類」，第 32 回日本ロボット学会学術講演会，九州産業大学，CD-ROM，2014. 9. 4
- [3]三栖一城・三浦 純，「3 次元レーザ距離センサとエスパアンテナを用いた移動ロボットによる特定人物発見・追跡」，第 32 回日本ロボット学会学術講演会，九州産業大学，CD-ROM，2014. 9. 4
- [4]小出健司・三浦 純，「服の色・身長・歩容特徴を用いた付き添いロボットのための人物識別」，第 32 回日本ロボット学会学術講演会，九州産業大学，CD-ROM，2014. 9. 4
- [5]井上陽平・三浦 純，「全方位カメラを持つ屋外移動ロボットの見えに基づく誘導」，2014 年ロボティクス・メカトロニクス講演会，富山市総合体育館，CD-ROM，2014. 5. 26

【論文】

- [1]Igi Ardiyanto and Jun Miura, “Partial Least Square-based Human Upper Body Orientation Estimation with Combined Detection and Tracking”, Image and Vision Computing, Vol. 32, No. 11, pp. 904-915, 2014